滿洲日報
（第三種郵便物認可）

規約第十五條の滿洲事變の適用に反對 表決には日本は棄權

決議案に對する日本の態度

【東京十一日發】十一日の聯盟總會起草委員會で採擇された總會決議案は直に我代表部へ通告されたので我代表部は十一日外務省に請訓し來つたが外務省では直に首腦者會議を開催し愼重協議の結果左の如く態度を決定したので正午ジュネーヴの代表部にその旨重要訓電を發した

一、決議案の表決に際して帝國代表は我立場を説明の上棄權すべし

一、總會決議案は九月三十日及び十二月十日の理事會決議を放棄し不戰條約及び九ケ國條約に違犯して作成された一切の協定及び事態を承認せずと云つて居るが日本が屢々聲明した如く之等條約に何等違犯したる事なく又決議案其のもの、主旨には何等の異議なし

一、併し乍ら總會の決議は第十五條を滿洲事件にも適用せるものだが日本は上海事件並びに滿洲事變の兩者共に適用さるべきものではないと確信する

一、國際聯盟は滿洲事變に關しては第十一條に基いて發動し來つたものであつて現に調査委員を支那に送つて居るが之が調査委員の調査の完了せざるにも拘はらず、輕率にも第十五條の適用に移る如き極めて不合理である

要求、容れられねば日本は退席棄權

形勢を憂ふる英代表

【ジユネーヴ十日發】我が代表部では我が要求に反して明十一日午前十時半の一般委員會が延期されなかつた場合には出席は拒ばまないが若し同會議で表決が行はるれば表決延期を要求し之れも容れられぬ時は退席して棄權する方針である、サイモン英代表は十二日のブリアン氏の葬儀に列席して歸國せんとし既に列車の切符迄手續を濟ましたが我代表部の決意堅きを知り午後九時からイーマン總會議長ドラモンド事務總長等と此の問題につき協議を行つてゐる

積極的に反對せぬは日本の一大讓歩

但しわが主張は貫徹

【東京十一日發】聯盟總會決議案に關し政府は既報の如く表決に際し棄權する樣訓電を發したが此の結果右決議案は成立するものとは考へられぬが規約十一條に基いて發動し來つた滿洲事變に對して突如十五條を適用するが如きは全然之を不可とするところである然るに日本が總會決議案に對して積極的反對に出でず棄權に出でんとするは今日迄大國の斡旋もあり決議案中に撤兵の期限も明示されず日本の主張が徹つたのと且つ修正要求を見出すも最早これまで進んだ限り效果がないと見たものであらう然し乍ら日本が之までに決意するに至つたは一大讓歩である

無條件撤退ならば停戰交渉に應ぜぬ

日支直接交渉と我方針

【東京十一日發】直接交渉開始に支那側は應諾の回答をよせ來つたが支那側の右回答中には日本軍の即時無條件撤退する字句があるので日本政府は右に關し疑義を挾み來に

一、日本軍の撤退區域內に支那軍を侵入せしめざる事

二、今後の支那軍の行動開始

三、日軍撤退區域警備

等の件に關して前以て支那側の意向を充分確め置く必要を認め政府は十一日早曉重光公使に重要訓電を發して之等の點を明瞭ならしむる樣命ずるところあつた、政府は此の點明瞭ならざる限り停戰交渉は應ぜられないものとしてゐる

日銀の公定割引率 十二日より二厘引下げ

【東京十一日發】日銀では公定割引歩合を左の如く二厘引下げ十二日より實施するに決した

一、商業手形割引日歩一錢六厘

一、國債擔當貸付利子及び國債を保證とする割引歩合一錢七厘以上

一、國債以外のもの手形割引歩合一錢八厘以上

一、當座貸越及びコルレスポンデンス貸越利子二錢

臨時議會日割

開院式は十八日に

【東京十一日發】十一日の政府與黨[illegible]書記長より來る臨時議會に就いて報告されたがその大要左の如し

十八日　召集貴院成立
十九日　衆議院成立
二十日　開院
二十一日　休會
二十二日　下院本會議委員會同
二十三日　時局會議案全部上程
二十四日　貴院本會議　委員會
二十五日　閉院式

安保大將 負傷兵を見舞ふ

【上海十一日發】安保大將は十一日午前九時より呉淞の戰蹟視察後揚樹浦の陸海軍飛行隊陣地を訪問し將士を慰問し次いで陸軍野戰病院に負傷兵を見舞つたが正午からは軍司令部に於ける白川大將主催の午餐會に臨んだが午後からは各野戰病院を歴訪した

白川司令官 下元〇團慰問

【上海十一日發】白川司令官は本日前驅逐艦〇〇〇艦を訪問上陸以來奮戰殊勳をたてた下元〇團長以下の將士を慰問した

工部局義勇隊解散

【上海十一日發】共同租界の警戒はその後速かに回復しつゝあるに鑑み、戒嚴時間短縮の外、召集中の義勇隊を昨日を以て極小部隊を殘し解散せしめた、工部局參事會は連日會議を開いてゐたが、一週三回となつた、日本在留民代表から成る委員會も矢張一週三回に減じ工部局學校も開校を布告した

支那の惡辣な人心攪亂策

【上海十日發】支那側の惡辣な人心攪亂策から度外れの流言蜚語が行はれ民衆を惑はしてゐるが、最近領事館側の入手した情報によれば、支那側は邦人密集地虹口に對し大燒打を行はんとしてをりその時期は同區域支那人全部が引揚げた後といはれてをり同地支那人に頻りに立退きを策動中であると

近衛文麿公 園公を訪問

【東京十一日發】近衛文麿公は十一日午前十時駿河臺の本邸に西園寺公を訪問挨拶の上時局各般の問題につき懇談し十一時半辭去した

規約第十五條 第三項第四項の解説

國際聯盟總會の起草委員會が作成した決議案は夕刊所報のごとくであるがその採用せんとする調停手續たる規約第十五條第三項とは左の如き條文である

聯盟理事會は紛爭の解決に力むべく其の努力功を奏したる時は其の適當と認むる事實及び説明並に其解決條件を記載せる調書を公表すべし

但し此處に理事會とあるのは聯盟總會と置き替へて見ればよい（第十項）即ち總會は兩國の間に立ちて紛爭解決のために調停斡旋等あらゆる努力を爲し、双方の同意點を發見すれば功を奏したわけである其時には總會は其「調書」を公表せねばならぬ、尚其調書には必ず紛爭に關する事實及び説明並に其解決條件を記載しなければならない、以上は條文の説明であるが、此の決議案の草案は今度の總會も此手續を執るのだといふ事を明にし、其の便宜の爲めに特別委員會を設置するのだといふのである、それから草案は更に進んで總會が如何に努力しても双方の同意を得る條件を發見する事が出來なかつた場合には第四項を適用する事にする積りだといふ事を明にして居る、第四項の條文は左の如くである

紛爭解決に至らざる時は聯盟理事會は全會一致又は過半數の表決に基き當該紛爭の事實を述べ公正且適當と認むる勸告を載せたる報告書を作成し之れを公表すべし

此の理事會の文字も前項と同樣に總會と置き替へてよい、即ち總會は一の「勸告」を作つて之れを記載した「報告書」を公表せねばならない、尚其報告書には紛爭の事實をも併記する、而して其勸告は總會が認めて公正且適當と爲す所のものであるが、如何にして公正且適當と認めるかと云へば總會の全會一致又は過半數の表決によるのである、今度の場合には全會一致は到底あり得ないから實際上過半數の決議による事になる

王獨立旅長を 公安局が逮捕

【上海十一日發】過日日本官憲のためアスターハウスで逮捕され各方面の猛運動で漸く釋放された第八十八師獨立旅長王は、釋放と交換條件に軍機を日本側に漏らしたとの非難が支那側に起り二人の無頼漢の如きは之を告訴してゐたが昨日午後公安局の手に逮捕された

湖北主席辭任

【漢口十日發】第二次中全會議決議中、現役軍人は行政長官を兼ねるを得ずとの條項により湖北主席何成濬は主席辭任を斷行、後任は駐日公使蔣作賓の呼聲高しと

「內地までの完全撤退は考へてゐない」

＝松岡洋右氏談＝

【上海十一日發】松岡洋右氏は左の如く語る

支那側が回答文中に突如完全なる撤兵云々の文字を挿入したので日支交渉は本日から開始する事は出來なくなつた、日本としては三月四日の聯盟總會決議案に從つて交渉を開始せんとしたので決議案以外の條件付交渉などに應ずる譯には參らぬ、我軍は停戰協定が出來れば租界及び附近區域に撤退するが內地までの撤兵は考へては居ない

于右任氏 近く赴平せん

【南京十一日發】于右任氏は近く政府の重要使命を帶びて北平に赴く事になつた

米國步兵隊 當分撤退せず

【ワシントン十日發】上海事件に際しマニラより出動した步兵三十一聯隊を原駐地に歸還せしむべしとの議があつたが米國務省は目下の處では撤退せざる事に決定した其の理由は發表されてゐないが此の問題に就ては數日中に最後的決定を見る事が出來るものと信ぜられてゐる、尚上海よりの報道によれば上海方面の事態は依然[illegible]である

夜の建國祝賀（大廣場のイルミネーション）

わが對滿經濟政策の根本方針を協議

支那問題常設委員會に對する日本商議原案

滿洲新國家成立に伴ふ我が對滿經濟政策刷新のため日本商工會議所では支那問題常設委員會を十六、七、八日の三日間、奉天取引所樓上に於て開催することゝなり、目下これが準備に忙殺されてゐる、上程議案は大體日本商議作成の各議案を中心に、十四、十五日の兩日滿洲各地の實情を聽取して最後的決定をなすことゝなつてゐるが日本商議原案は大要左の如し

一、在滿諸機關の統一及び恒久性の確立

イ、現在の關東廳、關東軍司令部、總領事館及び滿鐵の四機關を統一し、滿蒙に對する政治、軍事、外交、交通及び産業の一切を管掌せしめること

ロ、最高審議機關を設置し、官民有力者をもつて組織し經濟政策の審議に當らしめ終始一貫せる根本國策に基き適切なる施設をはかること

ハ、資源及び經濟調査機關を統一完備すること

二、門戸開放機會均等問題

イ、滿蒙に於ける門戸開放機會均等を尊重すべきこと

ロ、從つて經濟的活動に關し內外人の自由平等を原則とすること

三、滿鐵問題

イ、新國家の獨立新行政の展開に適應し滿鐵諸般の方針を改造すること

ロ、特に運賃政策及び單價政策を改め、我對滿經濟發展に遺憾なからしむること

四、金融政策

イ、從來の金融機關を整備統制して滿洲に我が中樞銀行を設立し新國家の幣制と緊密なる關係を保持し、金融券を統一發行せしめ滿洲本位の營業方針により我が對滿蒙經濟發展を助長せしむる事

五、關稅政策

イ、新國家における關稅政策は低率なる財政關稅を課するを原則とし、輸出稅は漸次撤廢せしむること

ロ、現行日支關稅協定による互惠協定はこれを存續すること

ハ、現行大連稅關設置に關する協約を改訂すること

ニ、關東州生産品に對する特惠關稅の問題

六、産業政策

イ、滿蒙新國家に於ては主として原始産業の開發に努めしむること

ロ、從つてその工業は、基礎工業に重點を置き製鐵業、曹達工業、大豆工業、油脂工業、パルプ工業、飼料工業、肥料工業、製酒工業、石炭液化工業、金屬マグネシウム工業の如きを促進せしむること

ハ、鑛業に對しては鑛業法を發布し、既得權益の擁護と將來の企業の促進等に資せしむること

ニ、林業に對しては林務行政の刷新を圖り、且つ邦人投資を確保すること

ホ、畜産に對しては緬羊の改良普及、牛馬豚の種畜場の施設獸疫の豫防設備を講ずること

ヘ、水産に對しては魚族の外漁業權の確保、製鹽場の開發等を圖ること

ト、農業移民に對して適當な機關を特設し、保護獎勵の方法を講じ、在滿鮮人の農業に對しても助長策をたて、將來多數朝鮮人の滿洲移入を圖ること

七、貿易政策

イ、わが對滿貿易の發達を圖るため關東州生産品及び內地製産品の滿洲輸出に對する信用保險制度を實施すること（特に小麥粉、機械類、染料、人造絹糸、織物及び毛織物などに對してこれを適用する必要あること）

ロ、貿易情報並に貿易促進機關の整備を圖ること

江口副總裁 上京期未定

村上、首藤理事は十二日發

重役會議その他のため出發を延期してゐた滿鐵村上、首藤の兩理事はいよいよ十二日發の旅客機で上京と決定したが江口副總裁竹中理事の上京期は未定である、なほ內田總裁は十一日廿一時三十分發急行で山西理事と共に急遽赴奉した

記者係には 國務總理秘書

新國家政治始めの第一日である十一日は午前中に假執政府では各執務室をそれぞれ割當てを行ひ各入口には係名を赤い紙に書いたものが貼りつけられ新氣分のもとに多忙な事務に追はれてゐる、國務院總理鄭孝胥の令息鄭垂氏は流石に秘書だけに日本記者團に日本語で發表を總れば外國記者團のため英語で巧に發表する等實に鮮かな執務ぶりを見せてゐるが、今後新聞記者關係は同氏の擔當で總て發表することになつた、この總理秘書と外交部總長の謝介石氏とは元氣潑剌たる點において新國家に頗る期待されてゐる【長春電話】

立法院長と長春市長

趙・金兩氏を選任

新國家では十一日午後三時執政府總務署において執政秘書鄭垂氏より立法院長以下左の如く發表した

立法院長　趙欣伯
警察長官　修長餘
憲兵司令官　[illegible]
長春特別市長　金璧東

但し長春特別市長は其の市長職名を暫く分掌理さす【長春電話】

關東廳に臨時職員を置く

【東京十一日發】十一日の閣議に於て左の件の決定を見た

關東廳部內臨時職員設置制中改正の件

巡捕採用試驗 十四日から

關東廳警務局では十四日午前九時より大連、安東兩警察署並に旅順警察官練習所において巡捕の新規採用試驗を執行すると

人事

▲內田康哉伯（滿鐵總裁）十一日廿一時三十分發急行で赴奉
▲山西恒郎氏（滿鐵理事）同上
▲杉本重道氏（滿鐵秘書役）同上

市場電報

神戸特産

銘柄	値
大豆現物	四八〇
先物	四〇〇
豆粕現物	一四〇
先物	三一二
滿洲小麥	四八〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一七三二〇	一七三三〇
東新	一七三五〇	一七三四〇
五品	二六八〇	二六七〇
中	二七一〇	二七四〇
先	二七四〇	二七三〇
豆信當、中、先（不申）		
豆新	二四〇〇	二四〇〇
中	二四五〇	二四四〇
先	二四六〇	二四六〇

東京株式（短期）

	東新	鐘紡	鐘新	滿鐵新
寄値	一六九四〇	二〇七五〇	九五九〇	三一四〇
引値	一七〇一〇	二〇九〇〇	九六〇〇	三一五〇
高値	一七〇一〇	二〇九〇〇	九六〇〇	三一五〇
安値	一六八五〇	二〇七五〇	九五五〇	三一三〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八〇三〇	八〇三〇
大新	七三八〇	七四〇〇
鐘紡	二一〇〇〇	二一〇〇〇
鐘新	九七五〇	九七一〇
東株	不申	不申
東新	七二二〇	七二六〇
日糖	不申	不申
郵船	四一三〇	不申
滿鐵	不申	不申

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
三月	六一八〇	六一九〇
四月	六二三〇	六二三〇
五月	六三〇〇	六三五〇
六月	六三五〇	六三六〇
七月	六六四〇	六六六〇
八月	六六六〇	六六七〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
三月	一四七六〇	一四七九〇
四月	一五〇四〇	一五〇二〇
五月	一五一七〇	一五一八〇
六月	一五三三〇	一五三五〇
七月	一五三九〇	一五四二〇
八月	一五五一〇	一五五八〇
九月	一五五三〇	一五五九〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
三月	二四〇一	二四一三
四月	二四四七	二四五三
五月	二五〇四	二五一七

神戸期米

限	後場寄	後場引
三月	二四一六	二四二五
四月	二四五一	二四六七
五月	二五一五	二五三五

東京期米

限	後場寄	後場引
三月	二三三二	二四四二
四月	二四〇六	二五一九
五月	二四五七	二五六二

社說

支那最初から聯盟精神背反　之を列國に說明せよ

去る八日洛陽に開かれた中央全體會議は、長期對日抵抗を決議し、全國に左の要旨の通電を發した。

日本は武力を以て東北を占領し、尚東南に及ぶ。吾人は積極的抵抗あるのみ。中央に於ては長期抵抗の決心あり。全國の武裝同志此の主旨を體せよ。

既に積極的抵抗と云ひ、武裝同志と呼ぶ。之れは正しく宣戰布告ではないか。國際聯盟では其眞相を調査する必要がある。何となれば假令兩國間に國交斷絶の虞ある紛爭發生する場合でも尚直ちに戰爭に訴へないのが、國際聯盟規約である。然るに日支兩國間に、未だ何等の解決方法にも着手せられざるに拘らず支那が若し前記の如く宣戰布告同樣の行動を取るならば、是れ規約の此精神に違反するものである。加之、聯盟の支那調査委員任命や、圓卓會議の決議には支那も贊成してゐる。然るに此際對日永久的抵抗を決議する如きは、聯盟の協定を無視するの甚しきものではないか。

◇

元來支那の排日行爲は、國際間の平和の基礎たる可き良好なる了解を攪亂するもので、明かに國際聯盟規約第十一條第二項に該當する「支那が數年以前より積極的系統的に此手段を執りて、日本を敵視してゐたのに、日本は何故にこれを國際聯盟に訴へざりしか」とは、聯盟總會に於てチエッコスロバキヤ國代表の斷定する所である。更に昨年十二月の理事會決議の際に於ける議長宣言中にも、此の文句が引用してある。恐らく、支那側の排日行爲を言裏に包含せしめたものと思ふ。

◇

此の如く支那は夙に對日經濟絶交を宣言して居る。經濟絶交は、排日行爲の最も尖鋭化されたものである。或は支那政府の公文としては、未だ此事を公布して居ないかも知れないが、黨部では夙に之れを決議して居る。或は政府は黨部の決議を執行する機關であつて、未だ之れを執行して居ないと辯解するかも知れないが、黨部は政府の執行を待たずして自ら之れを執行して居る。政府の手を藉らず、自ら法規を作りて、其の實行手段や罰則を實施して居る。否、黨部は寧ろ政府の上に位するもので、政府は之に追隨して居るのが、支那の實狀である。隨つて前記の對日經濟斷交は、支那國家が之を斷行し居れるといふも、敢て不可なきに非ずや。

◇

抑も〳〵國際聯盟規約第十六條は、規約に違反して戰爭に訴へた國家に對する制裁方法として、經濟絶交が規定してある。制裁方法としては、別に國際軍を以て討伐を加ふる事を規定し二者並び行ふ事となつて居るが國際軍の討伐よりも、寧ろ經濟斷交を以て有效と爲し、此れを重要視して居る。少なくとも國際聯盟にありては、經濟斷交を以て、國交斷絶以後に行ふものと爲し、戰爭と同視す可きものとし、種々念の入つた手續を經たる後に、始めて行はる可きものとして居る。

◇

然るに支那政府は、未だ國交の斷絶せざるのみならず、又未だ昨年九月の事變も發生せざる以前に、既に經濟斷交を決議し其實行に着手して居た。之れは規約第十五條第十六條の精神に違反するものではないか。勿論第十六條の經濟斷交は、列國共同のものであるから、一國だけで行ふものとは聊か趣きを異にするけれども、聯盟では、經濟斷交なるものは、正式の裁判若くは審査の結果、戰爭に訴へてはならない國家が、此れを無視して戰爭に訴へた時に、初めて課する制裁であるとし、決して輕々に課す可きものではないとして居る。然るに支那は、假令共同でないとはいへ、未だ國交も斷絶せず、平和の日にあつて早くも經濟絶交の擧に出でたるもので、初から聯盟規約第十五條第十六條の精神に違背してゐる。此事も國際聯盟に於ける研究事項の重要なものである。我國は固より之れを提議す可きであつて、支那調査委員會の如きは、殊に此點に注意せねばならぬ。

◇

支那の日貨排斥を、我政府は嘗つて武器を用ひざる戰爭であると喝破した。其の最も尖鋭化された經濟斷交を受くるに當りて、我が國が、その應急的報復手段として、適當且つ有效なる手段（若し他に執るべき方法がなければ武力）を使用するのも毫も非難すべきでない。是れ一種の自衞手段である。しかも我國は今日まで敢てこれを聯盟にも訴へず、又報復手段をも執らなかつた。只外交的平和手段によりてのみ、支那政府の反省を求めるに過ぎなかつたのである。

◇

然るに其後滿洲に於て、又上海に於て、支那軍隊の挑戰を受けて、我軍は最早や自衞的應戰の態度を取るの已むなき場合に立たせられた。但し此時に於ても、我軍の行動は、飽くまでも自衞的應戰に過ぎない。支那の排日行爲、又は經濟斷交に對する報復手段としての意識は、少しも持つて居ない。此等の點に就ては、我國は最も丁寧に說明し、以て認識不足の列國をして十分納得せしむべきである。但し日本の如上の隱忍は、必ずしも正當の權利を放棄したものではない。故に場合によりては、更に國際聯盟に對して、支那が規約第十五條第十六條の精神に背反して居る事を訴へて、其審理を求めてもよい。又場合によりては、應急的報復手段として（裁判又は審理を待つ遑なき緊急狀態の場合）戰爭に訴へても、法理上には敢て差支ないのである。

滿洲國の基礎となる　諸法令發布さる

十一日午後、執政府にて

新國家「滿洲國の基本法たる政府組織法並に人權保障法、參議府官制、國務院官制、監察院法、國務院各部官制、省公署官制、並に從前の法令を援用するの件の左記方法は十一日執政の裁可を得て午後三時處務署において國務院總理秘書鄭垂氏より發表した

政府組織法

第一章　執政

第一條　執政は滿洲國を統治す

第二條　執政は滿洲國を代表す

第三條　執政は全人民に對し責任を負ふ

第四條　執政は全人民之を推擧す

第五條　執政は立法院により立法權を行ふ

第六條　執政は國務院を統督し行政權を行ふ

第七條　執政は法律により法院をして司法權を行はしむ

第八條　執政は公共の安寧福利を維持增進し又は法律を執行するため命令を發し又は發せしむ、但し命令を以て法律を變更するを得ず

第九條　執政は公安を維持し又は非常の災害を防遏するために立法院を召集する事、召集する事を得ざる場合においては參議府の同意を得て法律と同一の效力ある緊急敎令を發する事を得、但し此の敎令は次の會期において立法院に報告すべし

第十條　執政は官制を定め官吏を任免し及びその俸給を定む但し本法其の他の法律により特に定められるものは此限りに非ず

第十一條　執政は宣戰講和及び條約締結の權を有す

第十二條　執政は陸海空軍を統率す

第十三條　執政は大赦、特赦、減刑及び復權を命す

第二章　參議府

第十四條　參議府は參議を以つて之を組織す

第十五條　參議府は左の事項につき執政の諮詢を待つてその意見を提出す

一、法律
二、敎令
三、豫算
四、列國交涉の條約、約束並に執政の名に於て行ふ對外宣言
五、重要なる官吏の任免
六、其の他の重要なる國務

第十六條　參議府は重要なる國務に關し執政に意見を提出することを得

第三章　立法院

第十七條　立法院の組織は別に法律の定むるところによる

第十八條　總て法律案及び豫算案は立法院の翼贊を得る事を要す

第十九條　立法院は國務に關し國務院に建議する事を得

第二十條　立法院は人民の請願を受理する事を得

第二十一條　立法院は執政毎年之れを召集す
常會の會期は一ケ月とす但し必要ある場合執政は之れを延長する事を得

第二十二條　立法院は總議員三分の一以上出席するに非ざれば開會することを得ず

第二十三條　立法院の議事は出席議員の過半數を以つて之を決す可否同數なる時は議長の決する所による

第二十四條　立法院の會議は之れを公開す、但し國務院の要求又は立法院の決議により秘密會議とする事を得

第二十五條　立法院の議決せる法律案及豫算案は執政之れを裁可し公布施行せしむ立法院法律案又は豫算案を否決せる時は執政は理由を示して之れを再議に附し尚ほ改めざる時は參議府に諮りてその可否を採決す

第二十六條　立法院議員は院內に於ける言論及び表決に關し院外に於いて責任を負ふ事なし

第四章　國務院

第二十七條　國務院は執政の命を受け諸般の行政を掌理す

第二十八條　國務院に民政、外交、軍政、財務、實業、交通、司法の各部を置く

第二十九條　國務院に國務總理及各部に總長を置く

第三十條　國務院總理及び各部總長は何時たりとも立法院會議に出席し及び發言する事を得、但し表決に加はる事を得ず

第三十一條　法律、敎令及び國務に關する敎書は國務總理之れに副署す

第五章　法院

第三十二條　法院は法律により民事、刑事及び訴狀を審判す、但し行政訴訟其他特別訴訟に關しては別に法律を以て之を定む

第三十三條　法官の資格は法律を以て之を定む

第三十四條　法官は獨立して其職務を行ふ

第三十五條　法官は刑事又は懲戒裁判によるの外其職を免ぜらるる事無し、又其意に反して停職轉官轉署減俸せらるゝ事無し

第三十六條　法院の對審判決は之を公開す、但し安寧秩序又は風俗を害する恐れある時は法律により又は法院の決議を以て公開を停止する事を得

第六章　監察院

第三十七條　監察院は監察及び審計を行ふ監察院組織及び職務に關しては法律を以てこれを定む

第三十八條　監察院に監察官及び審計官を置く

第三十九條　監察官及び審計官は刑事裁判若しくは懲戒處分によるに非ざれば其の職を免ぜらるることなし又其の意に反して停職轉官減俸せらるることなし

人權保障法

全人民の信任に依り滿洲國の統治を行ふ執政は戰時若くは非常事變の際を除くの外左記各項に準據して人民の自由及び權利を保障し並びに義務を定むべきことを全人民に對して誓約す

第一條　滿洲國人民は身體の自由を侵害せらるゝ事なし、公の權力による制限は法律の定むる處による

第二條　滿洲國人民は財產權を侵害せられる事なし公益上必要により制限は法律の定むる處による

第三條　滿洲國人民は種族宗教の如何を問はずすべて國家の平等なる保護を享く

第四條　滿洲國人民は法律の定むる處により國又は地方團體の公務に參與するの權利を有す

第五條　滿洲國人民は法令の定むる處により均しく官公吏に任ぜられる權利を有しその他の名譽職に就任するの義務を負ふ

第六條　滿洲國人民は法令の定むる手續に從ひ請願をなす事を得

第七條　滿洲國人民は法律の定めたる法官の裁判を受くるの權利を有す

第八條　滿洲國人民は行政官署の違法處分により權利を侵害せられたる場合においては法律の定むる處に從ひ之が救活を請求する事を得

第九條　滿洲國人民は法令によるに非らざれば如何なる名義においても課稅徵發罰款を命ぜられる事なし

第十條　滿洲國人民は公益に反せざる限り共同の組織によりその經濟上の利益を保護增進する事を得

第十一條　滿洲國人民は高利、暴利その他あらゆる不當なる經濟的壓迫より保護せらる

第十二條　滿洲國人民は均しく國又は地方團體の公費による各種の施設を享有する權利を有す

國務院官制

第一條　國務總理は執政の命を受け各部總長を指揮監督し、國家行政の機務を處理し其の責に任ず、國務總理故障ある時は總長の一人命を受け其事務を代理す

第二條　國務總理は其職權又は特別の委任により院令を發することを得

第三條　國務總理は須要と認むる時は各部總長の任免又は處分を停止し若しくは取消すことを得

第四條　國務總理は處部の官吏を監督しその任免進退及賞罰につき執政に奏請し、委任官以下はこれを專行す

第五條　行政事務の連絡統一を圖り以て全局の平衡を維持するため國務院會議を設く、國務院會議は國務總理之れを主宰し各部總長、總務廳長、法制局長、資政局長及其命を受けたる者を以て之を組織す

第六條　左の各件は國務院會議を經ることを要す

一、法律、敎令及び豫算
二、外國條約及重要涉外案件
三、各部官の主管權限の爭議
四、豫算外の支出
五、其他主要なる國務

第七條　國務院各部總長は國務總理の命を受け其の主管事務を處理す各部の官制は別に之を定む

第八條　國務總理は部內の機密、人事、主計及需要に反する事項を直轄し總務廳を設き之を處理せしむ

第九條　總務廳に左の職員を置く

廳長（特任）
秘書官（簡任）
理事官（簡任）
技師（簡任若しくは薦任）
事務官（薦任）
屬官（委任）

第十條　廳長は國務總理の命を受け處部の官吏を指揮監督し廳務を處理す

第十一條　秘書官は機密事項及特に命ぜられたる事項を掌る
理事官及技師は總長の命を受け所管の事務及技術を掌る
事務官は上官の命を受け事務を掌る
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

第十二條　總務廳に左の支處を設く

秘書處
人事處
主計處
需要處

處に處長を置き理事官を以て之に充つ

第十三條　秘書處に就て左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、法律敎令敎書及び院令の公布に關する事項
三、官印の管守に關する事項
四、公文書收發に關する事項
五、刊行物の發行に關する事項
六、會計及び庶務に關する事項

第十四條　人事處に於ては左の事項を管掌す

一、官吏の任免進退及び身分に關する事項
二、官吏の紀律及び賞罰に關する事項
三、官吏の給與及び恩給に關する事項
四、議員選任に關する事項

第十五條　主計處に於ては左の事項を管掌す

一、總括豫算及び總括決算に關する事項
二、特別會計の豫算及び決算に關する事項
三、國債に關する事項
四、收支の課目に關する事項

第十六條　需用處に於ては左の事項を管掌す

一、禁構に關する事項
二、用度に關する事項

第十七條　各處の分課規定は總務廳長これを定む

監察院法

第一條　監察院は執政に直隷し、國務院に對し獨立の地位を有す

第二條　監察院に左の職員を置く

院長（特任）
監察官（簡任若しくは薦任）
審計官（簡任若しくは薦任）
秘書官（簡任若しくは薦任）
事務官（薦任）
屬官（委任）

第三條　院長は處部の官吏を指揮監督し、院務を總理す院長事故あるときは部長の一人命を承けその職務を代理す

第四條　院長は薦任官以上の進退及賞罰につき國務總理を經て執政に奏薦し、委任官以下はこれを專行す

第五條　監察官は院長の命を承け監察を掌る
審計官は院長の命を承け、審計を掌る
秘書官は院長の命を承け、機密事項及び特に命ぜられた事項を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

第六條　監察院に總務處及び左の二部を置く

監察部
審計部

第七條　總務處に於ては左の事項を管掌す

一、機密に屬する事項
二、官印の管守に關する事項
三、人事に關する事項
四、文書及統計に關する事項
五、會計及庶務に關する事項

第八條　總務處に處長を置き、秘書官を以てこれに充つ、處長は院長の命を承け處部の官吏を指揮監督し、所管の事務を掌理す

第九條　監察部は於て左の事項を管掌す
但し審計部の所管に屬するものを除く

一、各官廳の違法若しくは不當の處分に關する監察
二、官吏の非に對する監察

第十條　監察部に部長を置く、監察官を以て之に充つ部長は院長の命を承け部務を掌理す

第十一條　審計部に於ては左の事項を管掌す

一、各官廳の豫算執行の監督
二、各官廳の收支及決算の檢査
三、各官廳の金錢有價證券及物品の檢査
四、各官廳のため銀行の取扱ふ現金及有價證券の出納に關する檢査
五、法令により特に定められたる公私團體の會計の檢査
六、官吏の會計上の非違に對する監察

第十二條　審計部に部長を置く、審計官を以て之に充つ部長は院長の命を承け部務を掌理す

第十三條　監察報告書及び審計報告書は部會議に於て之を確定し監察院長より執政に提出す

第十四條　監察若しくは審計の結果に基き行政官廳は違法若しくは不當の處分に就きて、是正を要するものありと認むるときは監察院長は各部の會議、各決議に對し意見書を送附し及びその處置につき國務總理に對し意見書を送附することを得

第十五條　審計の結果に基き當該官吏に於て賠償の責にありとせらるゝ者あるときは監察院長は審計部會議の決議により、その責任を制定し國務總理に移牒して執行せしむ

第十六條　監察若しくは審計の結果に基き官吏の懲戒を要する者ありときは監察院長は各部會議の決議により官吏懲戒委員會に對し、懲戒を要求することを得

第十七條　監察院長は隨時審計及監察の成績に基き執政に意見を上申し法律又は行政上の改正を必要とすべき事項ありと認むるときは合せて上申することを得

第十八條　監察院の職務執行に關する細則は敎令を以てこれを定む【奉天電話】

大赦と貧民急賑の二勅令を發す

勅令第十二號

古の聖人は車をおいて罪に泣く敎へずして誅するは誰か好く之れを忍びんや、今政府組織法第十三條に依り特に大赦を行ひ神と共に更始す、萬方あるは余一人にあり、此處に令す

大同元年三月十一日
執政
國務總理印
【長春電話】

勅令第十三條

災亂の後民政を樂まず其の極貧者は何を以て自治せんが、特に金二十萬圓を發し以て急賑に資す、國務院に命じ地方官に公布し速に適當に配布せしむ、語に云はずや一激するものは後にかゝるとは姑らく言を好むものゝ倡を爲すのみ之れに令す

大同元年三月十一日
執政
國務總理印
【長春電話】

參議府官制

第一條　參議府は參議○人を以て之を組織す

第二條　參議府に議長及び副議長各一人を置き參議中より執政之を命す
議長は參議府の事務を統治し參議府より發する公文書に署名す
副議長は議長を輔佐し議長故障ある時は此職務を行ふ
議長副議長共に故障ある時は參議の一人命を承け議長の職務を代理す

第三條　參議府の意見は參議府決議によりこれを決す

第四條　參議府會議は參議過半數出席するに非ざれば開會することを得す

第五條　參議府會議の議事は出席參議の多數決により可否同數なる時は議長の決するところによる

第六條　議長は會議に關し必要ある場合は國務總理各部總長及び監察院長またはその代理者をその會議に出席せしめ意見を陳べしむることを得

第七條　議長は必要により參議中より審查委員を任命し特別の事項に關しては審查せしむることを得

第八條　參議府に秘書局を設け他の職員を置く

局長簡任
秘書官簡任若しくは薦任
屬官、委任官

第九條　局長は議長の命を承け常務を監理す、秘書官は局長の命を承け事務を掌る、屬官は上官の指揮を承け事務に從事す

第十條　議長は秘書局長、秘書官の進退及び賞罰につき國務總理を經て執政に奏薦し委任官以下はこれを專行す

省公署官制

第一條　各省（公安省を除く）に九省公署を置く

第二條　省公署に左の職員を置く
省長特任、廳長簡任、秘書官薦任、事務官薦任、技師簡任若しくは薦任、事務官薦任、警視薦任、視學薦任、警佐委任、屬官委任

第三條　省長は國務總理及各部總長の指揮監督を承け法令を執行し省內の行政事務を管理し處部の官吏を指揮監督す
省長は薦任官以上の進退及賞罰につき國務總理に上申し委任官以下は之れを專行す

第四條　省長は省內行政事務に對し職權又は特別の委任に依り省令を發することを得

第五條　省長は職權又は特別の委任に依り縣長を指揮監督す省長は縣長の年齡にして成規に違ひ公益を害し又は權限を犯すものありと認むるときは其の年齡又は處分を取消し若しくは停止することを得

第六條　省長は安寧秩序を保持する爲め兵力を要するときは之れを國務總理に具狀すべし、但し非常急變の場合に對しては地方駐在軍隊の司令官に出兵を要求することを得

第七條　廳長は省長の命を承け部下の官吏を指揮監督し事務を分掌す
技師は上官の命を承け技術を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る、警視は上官の命を承け警察及び衞生事務を掌り部下の警佐を指揮監督す
視學は上官の指揮を承け學事の視察其の他敎育に關する事務に從事す
警佐は上官の指揮を承け警務に從事す
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

第八條　省公署に左の各廳を置く

一、總務廳
二、民政廳
三、警務廳
四、實業廳
五、敎育廳

第九條　總務廳に於ては左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、人事に關する事項
三、文書及統計に關する事項
四、官印の管守に關する事項
五、會計に關する事項
六、他の廳に屬せざる事項

第十條　民政廳に於ては左の事項を管掌す

一、自治處政の監督に關する事項
二、土木に關する事項
三、賑災及救恤に關する事項
四、官有財產の管理に關する事項
五、土地に關する事項
六、其の他他廳の所管に屬せざる一般行政事項

第十一條　警務廳に於ては左の事項を管掌す

一、警察に關する事項
二、衞生に關する事項
三、禁煙に關する事項
四、爭議の調停に關する事項

第十二條　實業廳に於ては左の事項を管掌す

一、農工商森林礦山及水產に關する事項
二、官營事業の管理に關する事項
三、荒地、開墾及植民に關する事項
四、農田及水利の整治に關する事項
五、度量衡に關する事項

第十三條　敎育廳に於ては左の事項を管掌す

一、敎育及び學藝に關する事項
二、禮俗及宗敎に關する事項

第十四條　警務廳長は警察事務の執行に關し省長の命を承け省內の警察官吏を指揮監督す

第十五條　各省の事務分掌規定は省長之れを定む

國務院各部官制

第一章　通則

第一條　國務院各部總長は國務總理の指揮監督を承け其の主管事務を掌理す、主管の劃然ならざる事務若しくは二部以上に關涉する事項は國務會議に提出し其の主管を定む

第二條　國務院各部總長は其の主管事務につき法律、敎令及び院令の制定、廢止及改正を要するときは案を具し國務總理に提出すべし

第三條　國務院各部總長は其の主管事務につき國務院會議を求むることを得

第四條　國務院各部總長は其の主管事務につき職權又は特別の委任に依り部令を發することを得

第五條　國務院各部總長は其の主管事務につき各省長（公安省長を除く）首都警察廳長に指令又は訓令を發することを得

第六條　國務院各部總長は其の主管事務につき各省長（公安省長を除く）首都警察廳長を指揮監督し其の處分又は命令の成規に違ひ公益を害すると認むるときはこれを停止又は取消すことを得、但し重要なる事項に對しては國務總理の指揮を承くることを要す

第七條　國務院各部總長は所部の官吏を指揮監督し其の進退及び賞罰につき國務總理を得て執政に奏薦し委任官以下は之れを專行す

第八條　國務院各部に司を置く、司に司長を置く、理事官又は技師を以て之れに充つ司長は總長の命を承け所部の官吏を指揮監督し其の主管事務を掌理す
各司の分課規定は總長之れを定む

第二章　民政部

第九條　民政部總長は地方行政、警察、土木、衞生及び文敎に關する事項を掌理し省長は（公安省長を除く）首都警察廳長を監督す

第十條　民政部に左の六司を置く
總務司、地方司、警務司、土木司、衞生司、文敎司

第十一條　總務司に於ては左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、官印の管守及び文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及庶務に關する事項

第十二條　地方司に於ては左の事項を管掌す

一、地方行政に關する事項
二、自治行政に關する事項
三、公共組合に關する事項

第十三條　警務司に於ては左の事項を管掌す

一、治安警察に關する事項
二、行政警察に關する事項

第十四條　土木司に於ては左の事項を管掌す

一、部直轄の土木工事の施行に關する事項
二、地方及公共、土木工事の監督及び補助に關する事項
三、土地收用に關する事項

第十五條　衞生司に於ては左の事項を管掌す

一、防疫、種痘及公衆衞生に關する事項
二、保健及醫政に關する事項

第十六條　文敎司に於ては左の事項を管掌す

一、敎育に關する事項
二、學藝に關する事項
三、宗敎に關する事項
四、禮俗に關する事項

第十七條　民政部に左の職員を置く

秘書官、簡任若しくは薦任
理事官　簡任
督學官　薦任
技師　簡任若しくは薦任
事務官　薦任
屬官　委任

第十八條　秘書官は總長の命を承け機密の事項受特に命ぜられたる事務を掌る
理事官は總長の命を承け所管の事務を掌る
督學官は總長の命を承け學校敎育の監督に關する事務を掌る
技師は上官の命を承け技術を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を承け事務に從事す

第三章　外交部

第十九條　外交部總長は在外使節及び領事を指揮監督し國際交涉通商及び在外臣民の保護に關する事務を掌理す

第二十條　外交部に左の三司を置く

總務司
通商司
政務司

第二十一條　總務司に於て左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、官印の管守及文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及庶務に關する事項

第二十二條　通商司に就ては左の事項を管掌す

一、通商に關する事項
二、外國の經濟事情の調查に關する事項
三、在外人民の保護に關する事項
四、領事に關する事項

第二十三條　政務司に於ては左の事項を管掌す

一、條約に關する事項
二、國際會議に關する事項
三、情報に關する事項
四、在外使節に關する事項

第二十四條　外交部に左の職員を置く

秘書官　簡任若しくは薦任
理事官　簡任
翻譯官　薦任
事務官　薦任
屬官　委任

第二十五條　秘書官は總長の命を承け機密事項及特に命ぜられたる事務を掌る
理事官は總長の命を承け所管の事務を掌る
翻譯官は上官の命を承け翻譯を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

第四章　軍政部

第二十六條　軍政部總長は軍政を管理し用兵に關する事項を掌理す

第二十七條　軍政部は左の二司を置く

參謀司
軍需司

第二十八條　參謀司に於ては左の事項を管掌す

一、總務に關する事項
二、用兵に關する事項
三、軍の訓練に關する事項
四、軍の編成及徵募に關する事項
五、醫務に關する事項
六、法務に關する事項

第二十九條　軍需司に於ては左の事項を管掌す

一、兵器に關する事項
二、軍需品に關する事項

第三十條　軍政部に置くべき職員については別に之を定む

第五章　財政部

第三十一條　財政部總長は稅務、專賣、貨幣、金融統制及國有財產に關する事項を掌理す

第三十二條　財政部に左の三司を置く

總務司
稅務司
理財司

第三十三條　總務司に於ては左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、官印の管守及文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及庶務に關する事項

第三十四條　稅務司に於ては左の事項を管掌す

一、國稅の賦課徵收に關する事項
二、稅務行政に關する事項
三、關稅の賦課徵收に關する事項
四、關稅行政に關する事項

第三十五條　理財司に於ては左の事項を管掌す

一、貨幣に關する事項
二、金融統制に關する事項
三、金融機關の監督に關する事項
四、國有財產の監理に關する事項

第三十六條　財政部に左の職員を置く

秘書官　簡任若しくは薦任
理事官　簡任
事務官　薦任
技師　簡任若しくは薦任
屬官　委任

第三十七條　秘書官は總長の命を承け機密の事項及び特に命ぜられたる事項を掌る
理事官は總長の命を受け所管の事務を掌る
事務官は上官の命を受け事務を掌る
技師は上官の命を受け技術を掌る
屬官は上官の命を承け事務に從事す

第六章　實業部

第三十八條　實業總長は農林、畜產、礦業、商工その他一般實業に關する事項を處理す

第三十九條　實業部に左の三司をおく

總務司
農礦司
工商司

第四十條　總務司において左る事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、官印の管守及び文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及び庶務に關する事項

第四十一條　農礦司においては左の事項を管掌す

一、農業及び副業に關する事項
二、林業及び造林に關する事項
三、畜產に關する事項
四、水產に關する事項
五、鑛林及び地質に關する事項

第四十二條　工商司においては左の事項を管掌す

一、商業及び貿易に關する事項
二、工業に關する事項
三、度量衡に關する事項

第四十三條　實業部に左の職員を置く

▲秘書官簡任もしくは薦任理事官簡任
▲技師簡任もしくは薦任事務官薦任屬官委任

第四十四條　秘書官は總長の命を承け機密の事務及び特に命ぜられたる事務を掌る
理事官は總長の命を承け所管の事務を掌る
技師は總長の命を承け技術を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

第七章　交通部

第四十五條　交通部總長は鐵道郵便電信電話航空水運その他一般交通に關する事項を處理す

第四十六條　交通部に左の四司を置く

總務司
鐵道司
郵務司
水運司

第四十七條　總務司においては左の事項を管掌す

一、機密に關する事項
二、官印の管守及び支出に關する事項
三、人事に關する事項
四、航空の取締に關する事項
五、會計及び庶務に關する事項

第四十八條　鐵道司においては左の事項を管掌す

一、鐵道及びその附帶道具の管理に關する事項
二、陸運の監督に關する事項

第四十九條　郵務司においては左の事項を管掌す

一、郵便に關する事項
二、電信及び電話に關する事項

第五十條　水運司においては左の事項を管掌す

一、水運に關する事項
二、航路標識に關する事項
三、船舶及び船員の監督に關する事項

第五十一條　交通に左の職員をおく

秘書官　簡任もしくは薦任
理事官　簡任
技師　簡任もしくは薦任
事務官　薦任
屬官　委任

第五十二條　秘書官は總長の命を承け機密事務及び特に命ぜられたる事務を掌る
理事官は總長の命を承け所管の事務を掌る
技師は上官の命を承け技術を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を承け事務に從事す

第八章　司法部

第五十三條　司法總長は法院及び檢察廳を監督し民事刑事訴訟その他司法行政に關する事項を處理す

第五十四條　司法部に左の三司をおく

總務司
法務司
行刑司

第五十五條　總務司においては左の事項管掌

一、機密に關する事項
二、官印の管守及び又之に關する事
三、人事に關する事
四、會計及び庶務に關する件

第五十六條　法務司においては左の事項を管掌す

一、法院の設置廢置及び管轄區域に關する事項
二、民事刑事非訟事及び裁判事務に關する事項
三、檢察事務に關する事
四、戶籍登記、供託、調停及び公證に關する事項

第五十七條　行刑司においては左の事項を管掌す

一、刑の執行に關する事
二、監獄に關する事
三、少年矯正及び免囚保護に關する件
四、恩赦に關する件

第五十八條　司法部に左の職員をおく

秘書官　簡任もしくは薦任
理事官　簡任
事務官　薦任
屬官　委任

第五十九條　秘書官は總長の命を承け機密に關する事務及び特に命ぜられたる事務を掌る
理事官は總長の命を承け所管の事務を掌る
事務官は上官の命を承け事務を掌る
屬官は上官の指揮を受け事務に從事す

アサヒノボル

中溝しんいち作(73)河野ひさし画

一　タイチャンハコヒノシッポガナホルヤウボウズニオキヨウヲアゲサセテキルトフシギニモ

二　ボコリトコヒガトビハネタカラミルトリッパニシッポガツイテキテアリガタウトイフ

三　コレデヤクメガスンダトオモツテフリムクトイマキタボウズガドコニモミエナイ

四　ソノカハリラマベウフキンカラタクサンノシナヘイガアラハレテテツバウヲ[illegible]

春……人の心はゆるみ　泥棒のシーズン

どうしたら盗難が防げるか

安心できぬ錠前と掛金

ポカ〳〵暖くなると人の眼は眠くなり心は緩んで來ます、毎年三月、四月は一年中で一番盗難の多い月です、ここにピクニックなどが始まると新聞紙上にも泥棒記事が目立つて多くなります、どんな家が一番盗まれ易いか、どうしたら盗難が防げるか――三浦四岡子警察署長の談

◇警察側から見ると盗まれる家は大抵定まつてゐて同じ家が何度もやられますが、これは全くその家の人々の不注意からです、大抵の人は鍵をかければもう大丈夫と思つてゐますがこれは大變な間違ひで、たとへば官舍などは合鍵が一緒だから一つの鍵でどの家にも容易に入れます、最近紅葉臺に入つた泥棒などがそれで音もさせずに持てるだけの品物を持ち出して行きました、それゆえ官舍や社宅などに住む人は自分で別に錠前などりつけておくことです

◇しかしそれでも絶對安全とはいへませんから寢るときは錠前に鍵を差し込んだまゝにしておくことが最も簡單で間違ひありません

◇小窓の掛金も安心できぬもので、一寸心得た泥棒ならば薄い板金一枚で容易にこれを開けてしまひます

◇滿洲でことに多いのは窓ガラスを外して入る賊ですが、これは窓枠にガラスを付けるボテが乾燥のため落てゐるために容易にガラスを外すことができるからです、これなどは絶えず氣をつけてもし落ちてゐたら塗換へるやうに注意せねばなりません

◇最後に外出または旅行などで留守にする場合には最寄りの警察か又は近所の人に留守を頼んで行くことで警察はこの屆け出を受けたら十分警戒をすることにしてゐます

見事な出來榮えの　出品が千點

滿鐵家事講習所の　第一回展覽會

例年春の彼岸の前後に開かれてゐた滿鐵播磨町家庭研究所の手藝品展覽會は豐富な出品物とその素晴らしい出來榮えで大連は勿論、殆ど全滿の多少でも手藝に趣味のある人たちで知らないものはないほどご人氣を集めてゐたもので、この二三年來支那人や西洋人の來覽者も著るしく

殖えて　遠くは撫順、奉天あたりからわざ〳〵見に來る婦人方もあるといふ有樣でした、その家庭研究所が家事講習所と改稱されてから今度は最初の展覽會なのですが、今年は播磨町講習所だけでなく沙河口、日の出町の兩家事講習所も合同して來る十九日から廿一日まで三日間播磨町講習所に於て大々的に手藝品展覽會を催さうと目下各講習生は出品物の製作に懸命になつてゐます、陳列品の主なものは刺繍科の

製作品　ではフランス刺繍、日本刺繍、アップリケー、ドロンウオーク、カットウオーク其他も新らしい手藝であるヘイル編具應用のクッション、壁掛、額、ピアノ掛、帶側、座蒲團、手提等目のさめるやうな素晴らしいものが約三百點、洋服科では男兒服、女兒服、婦人服等新しい意匠をこらされたものや、廢物をうまく利用した通常服、訪問着もあれば昨年秋服裝改善會で制定した小中學生用の標準服もごく安い値段で賣品に出される筈です、此外婦人服子供服、ベビー服、婦人用並に女學生用の運動服を下着から上着まで全部取揃へて洋裝をする人たちの參考としたり

男兒服　女兒服の肝心の所を圖解と部分縫によつて示したものなどいろ〳〵有益な參考品も澤山出品されるさうです、編物科では春物のスウエーター、ドレス袖なし、ハーフコートなどこれも春らしい新鮮なデザインと色合の斷然素晴らしいのが二三百點もありませう、和服科では生活改善の趣旨から目を引くやうな晴着類はさけて或は古いセルの單衣を袴にこしらへ直したり、膝が抜けたのをうまくやりくりして體裁よくした廢物利用品や普通だれもなほざりにし易い和服の縫方のコツを圖解したものなどの外に、最も手輕で經濟で衞生的な白綿ネルのベビー服の賣品などを出してゐますから全體の點數は

千點を　越えませう、なほ別室では講習生の手にこしらへられた滿洲産の黍を材料としたおいしい黍團子や講習所御自慢の炒雜碎(チャップスイ)附の晝食の賣店もあります丁度土曜、日曜祭日と三日つゞきますし、このごろのポカ〳〵と暖い陽氣とお彼岸とで當日は定めし押すな押すなの入場者を見る事でせう

谷の鐘

旗野二郎

15

「郭公さん。郭公さん。さおにげなさい」

火は、この楡の木の下藪に燃えつきました。下から火あぶりされるやうに、熱い風が、蛇のまはりをふきのぼります。

「郭公さん。しつかりなさい」

蛇は、郭公の肩を嚙みました。郭公を元氣づけるためにつと郭公は正氣づいて、無中になつて、楡の梢をとびたつたのですもく〳〵と立ちのぼる黒い煙の中を郭公がはばたいてゆくのをみて蛇は「あゝやつと安心した。これで、谷のものをみんなたすけてやつた」とひとりごとをいひました

蛇は、楡の木をおりて逃ようとおもひましたが、下は、一面の火です。蛇は、どうすることもできません。熱い焔が下から燃え上るので、蛇は、しらずしらずのうちに、楡の一番高い梢先にすがりつきました。やがて、楡の木がゆらゆらとゆれ動きました。蛇は、友だちにかはつて死ぬのだとおもふとなにかしら、悲しいうちにも、はればれしたものを感じました。ものすごい煙の中に月がちらつと見えましたが、それきり、月は見えなくなつてしまひました。

山火事は、ます〳〵あれくるつて、ひろがりましたが、驟雨がふつてきたので、だん〳〵靜まりました。それに風がぴつたりやんでしまつて、夜明け近くには、焔は消えてしまつて白い煙が、霧のやうにたゞよつてゐるばかりでした。

おくれ、慰問袋!

上海を守る我勇士に

滿日婦人團で取次ぐ

上海事變が發生して以來多數のわが忠烈な男士等は不馴れな地にあつて數々の辛酸を嘗めて來ました今のところ一時停戰狀態を保つてはゐますが暴虐な支那兵は何時反抗の火蓋を切るかも知れず我が軍は寸時も安心してゐられない狀態なのです、ところが滿洲事變の際には處置に困るほどの夥しい慰問袋が出動軍隊や警察官等に送られたのに、上海方面には未だごく僅かの慰問袋しか屆けられてゐないと聞きます、それで今度大連市役所と時局後援會が共同して上海事變派遣軍隊へ送る慰問袋を集めることになりましたから滿日婦人團でも團員一同の眞心をこめた慰問袋を集めて主催側の手を經て派遣軍隊へ送りいさゝかでもその勞をねぎらひたいと思ひます。慰問袋の内容は先日上海派遣軍司令部へ問合せた結果は煙草、タオル、仁丹、キャラメル、チリ紙などを一般に希望してゐるさうで、ハミガキ、石鹸、ハブラシなどを使ふやうな除暇は今のところ殆ど見出せないさうです、慰問袋締切は主催者側で本月二十日限りになつてゐますから、團員の方はその前日までに慰問袋作製の上本社内滿日婦人團本部までお屆下さるやう

毛皮を仕舞ふ

「手入れが出來ましたか　◇…忘れたらば臺なし」

◇…◇永い冬も終り着なれた毛皮の外套や婦人の狐の毛皮の襟巻などを仕舞ひ込むころとなりました、これらの毛皮類はすべて高價なものですが手入が悪いと一年で毛が抜けて使へなくなります、ことに滿洲のやうに埃の多い土地では毛の根元の脂肪に埃がたまり或は虫が巣喰ひますからそれを知らずに仕舞ひ込みますと虫は毛の根元を蝕んで行きます、かゝる損害を免れるにはドライクリーニングをすることが第一ですが揮發油に三十分浸してクリーニングする間に毛の根元に附着してゐるすべての塵や黴菌類は綺麗されます、その上紙袋をつくつて袋の中に入れ固形フォルマリンを十個程入れて空氣の入らぬ所に入れておけば理想的です

◇…◇外套も同様でクリーニングの後に大きな袋をつくつてその中に仕舞ひ固形フォルマリンを三十個程各所に入れて吊しておきます、こうすると毛が抜ける事なく幾年も立派な毛皮を着る事が出來ます(寶ドライクリーニング店主談)

煤煙に　よごれた　足袋の　洗濯方法

滿洲の婦人たちの苦手は煤煙です雪の様に眞白い足袋をはいて外出しましても數時間の後には早眞黒に汚れて了ひます、汚れても洗濯がすぐに出來、眞白になれば譯ないのですが一週間もすると少々黄色味を帶びて白足袋の値打ちがなくなります、さうかと云つて洗濯屋さんへ毎日出す譯にも行きませんので家庭で洗濯して眞白にする方法を御紹介しませう

◇……◇

先づ汚れた足袋を荒洗ひし大體の汚れを落して了ひ石鹸をつけたまゝ何か器に入れて煮沸いたしますと眞白になります煮沸してもやはり汚れてゐる樣な場合は、汚れてゐる點だけつまみ洗ひしますと綺麗になります、洗濯がすみましたら薄く糊をつけ乾き切つてしまはぬ中にアイロンをかけますと立派な足袋がはけます足袋に糊をつけますと汚れましても洗濯の時汚れが早く落ち、時間と手間が大分省けます、石鹸水で煮沸した後の熱い湯は捨ず單衣の着物にかけますと汚れが容易く落ちます

今日のお料理

大根のそぼろかけ

(材料)大根二百匁、豚肉五十匁、玉葱一個、片栗粉大匙一杯、八方汁二合

大根の皮を剝き大角に切り茹で玉葱、豚肉は細かく切つておきます

(調理法)大根を八方汁(鰹節を濃く削つて三匁ほどを水二合、砂糖十匁、酒五勺、味の素少々、醤油五勺の中に入れ沸騰させて漉したもの)で煮上げ、殘つた汁に玉葱、豚肉を入れて煮込み、片栗粉を水に溶かして漉し入れ大根を器に盛りたる上よりかけて供します

滿日各地版

愈よ高潮に達した滿洲國建設祝賀會

空陸相呼應して大祝賀行進

安東における盛況

【安東】東北三千萬民衆の熱望した樂天地滿洲國は既に建設され曠漠たる大地に黎明の鐘は鳴る、今や吹く春風の裡颯爽として出現した大滿洲國は新しき旭光に輝き新旗赤青白黑の滿地黃旗は一歩を世界史上に印し滿洲國を表徴する此の日十一日無心の山野さへ若き滿洲國を謳歌するかの様に見え十數年間の張家暴政より

解放 された民衆は放たれたる小鳥の如く悦びに湧き返る、朗らかだ！安東驛前の大アーチ公會堂入口のイルミネーション市內要所々々には日滿大國旗の交叉滿洲街六道の辻に十字に張渡された紅布には新國家祝福の文字鮮かに人目を惹き各商店の入口は五色の旗で飾られ新興の氣は眼に耳に爽かに生々と感じられ道行く車馬にも立てられた小旗は風に搖らぎ此處縣公署前の電飾された松葉の慶祝門は大滿洲一隅の安東總元締を表徴するかの如く巍然と聳え今日の集會所總商會前大廣場には若き元首溥儀氏を戴き卑屈より更生への

一歩 を踏みだした學生各團體一般市民の數無慮六萬を突破し眼も鮮かな數十本の長旗は颯爽とはためき、さしもの大廣場も小國旗の波で埋め盡され斯くて定刻に入るや砲禮五發の花火は碧空に日滿國旗の和を謳ひつゝ落下する縣長王介公氏の發聲で萬歲三唱續く七萬の喊聲は靜寂な空氣を震はす軈て美々しく飾られた車馬隊を先驅に樂隊續く商工、農村、教育（學生）宗教各團體無慮七萬、夫々に趣向を凝らした高蹺踊、秧歌遊、獅子舞等各種餘興を前後に配し隊伍整然四列の行列は實に延長十數丁の長蛇を爲し數千枚の宣傳ビラを撒布しつゝ進めば銀翼に旭光を受け爆音勇ましく飛び來れる飛行機は輕やかに舞ひ

祝福 してビラを撒布し一般に氣勢を添へ空と陸との祝賀の交響行列は祝賀行進歌を高唱しつゝ財神廟街より六道の辻へ興隆街を市場通へ直進驛前廣場にて日本側行列三萬と合し滿洲語、日本語和合十萬の喊聲は萬雷の一時に落つるが如くさしもの廣場も立錐の餘地なく斯くて安東ホテルに向つて日滿各團體左右に整列を終れば日滿兩代表（日本側多田兒）（滿洲側王介公）兩氏は童顏に微笑を浮べつゝホテルベランダに現れ堅く親く握手を交せば十萬の群衆水を打つたる如くしばし沈默裡に感激的シーンは

展開 され日本代表は滿洲國萬歲を滿洲國代表は日本帝國萬歲を交互に高唱せば熱狂せる群衆之に唱和し安東古今未曾有の意義深き建國祝賀交驩は朗かになごやかな春風裡に幕を閉ぢた

湧き返へる鞍山

全市を練廻る旗行列

【鞍山】鞍山、遼陽縣南部農商聯合會では滿洲國建國祝賀會を十日正午より興盛廟境內において開催した來賓として滿鐵各課所長實業界、輸入組合理事、警察署、郵便局長各區長地方委員財團法人、新聞關係者等を招待し會長の開會の辭、新國旗の掲揚小野寺地方事務所長の祝辭吉村憲兵分遣隊長の發聲にて新國家萬歲を三唱し祝宴に移つた、これより先第七區自衛團二百名は廟前に整列し久留島分會長、松木警察署長、吉村分遣隊長等の査閲を受け公學校生徒及び一般民衆は樂隊を先頭に新五色旗を立て高脚踊りをなしながら蜿蜒長蛇の行列は鞍山全市を練り廻り賑つてゐる盛況を呈し祝賀氣分が湧きかへつてゐる【鞍山電話】

錦州の祝賀

嚴肅に行はれた 歷史的一大祝典

【錦州】三月十一日に建國大祝賀會は日支兩國民により舉行された、九日は千古不滅の滿洲國が建設されたので三千萬民衆は歷史的一大祝典を最も嚴肅に行ふべく滿洲側谷、蔭川兩委員長日本側是永領事代理等によりて十一日警備司令部跡に於て日滿兩國民により舉行された式後は滿洲側の餘興あり同夜は日本居留民全部を招待の上祝宴を催したが總督場所の關係上代表者のみ招待した尚當日は警備司令部從少佐及松浦憲兵分隊長が警戒の任に當つた、また新國家建設されたることにつき邦人居留民一同は滿洲側に祝意を表し且錦州に入城して拔群の戰功を收めた○○師團も何れ衛戍地へ引揚らるものとしこれに在留邦人の生存上最も感謝と祝意を表す可く祝宴は十二日舊師團司令部にて盛大に舉行さる筈

營口の祝賀

稀に見る賑ひ

【營口】滿蒙新國家成立につき滿洲側では十、十一、十二の三日間祝賀をなすこととなり十日は午前十一時から小紅樓劇場に於て嚴肅なる式典を舉げ日支官民多數の來會者あり李序國氏の開會の辭、[illegible]日支兩方面の祝辭あり後滿洲國萬歲の三唱ありて盛會裡に閉會し午後二時よりは瀛海樓に於て盛大なる招待宴ありて同三時半散會した、當日は滿洲側各戶に新五色旗を掲げ各中等學校小學校生徒全部は五色の小旗を打振りつゝ新舊市街をねり歩いて大旗行列をなし市中は多數の人出にて時ならぬ賑はひを呈して春光融々として何れも祝賀氣分にひたり新市街は夜に入りて全市に行燈を點じ驛及水電會社はイルミネーションを點し更に一段の景氣を添へた

熊岳城の歡喜

【熊岳城】當地における滿洲新國家建國式は九日午後一時より熊岳城公學校講堂に於て舉行せられたが正面には新國家の大國旗を掲げ其他多數の小國旗で飾らる、生徒着席の上日支官民多數の來賓入場池田校長の開式の辭、國旗に對する最敬禮建國の經過につき一場の講話あり渡邊場長、古川地委議長支那側來賓代表董學厚氏の祝辭等あり希望と歡喜に滿ちた生徒の口より新國家建國の唱歌は高らかに唱和され盛會裡に式を閉ぢた

開原の祝賀會

【開原】開原縣公署にては三月十二日午後二時城內教育局圖書館に於て盛大なる慶祝宴を催す由にて在附屬地官民有志に案內狀を發した

全滿各都市の陸軍記念日

滿蒙新時代を表象して 各地未曾有の盛觀

熊岳城

當地における陸軍記念日は朝來冷雨混じりの粉雪が降つてゐたが九時頃より小止みとなる、小學校に於ては午前八時半より守備隊田中中尉の軍事講話あり十時よりは當時の壯絕さその儘の演習が舉行せられた、大略の經過は

蓋平方面より南下する敵に對し熊岳城附屬地を死守すべき任務を有する在鄉軍人團二小隊約五十名と警察隊は附屬地北端鐵塔附近に陣地をしき一方火石山方面に現はれた敵（守備隊一部と小學生）は熊岳城北端附近に陣地を占領、之を擊滅すべき任務を有する守備隊軍は附屬地々方約五六百米の地點に於て攻擊準備をなしたが十時演習開始の命下るや騎馬斥候は飛び乘馬兵は猛襲し一方塹壕內の味方の小銃射擊、機關銃の猛射は暫し鳴りを靜めず、此の間統監部石原少尉高松少尉、北田少尉、古川特務曹長、本宮特務曹長（在鄉軍人）の命ずる統監部付き傳令は飛び寸分の隙なき程の緊張振りを示すかくて激戰時餘遂に突擊に至り停戰ラッパ鳴り響く右演習後其の附近に於て火石山方向に對し小銃射擊、輕機關銃、重機關銃、擲彈筒射擊、迫擊砲等の實彈射擊を演じ一般觀戰者に示し豫定より少しおくれ十二時二十分終了直に祝賀會場たる市民クラブに入る、一同席定まるや田中中尉の一場の訓話あり滿堂和氣靄々たる中に祝杯をくみ交し西尾老の日清日露役における回想談、佐藤氏の浪曲等を混じへ歡談時餘最後に渡邊試驗場長の音頭にて帝國の萬歲を三唱し一同散會した

營口

既報當地の陸軍記念祝賀會は十日午後四時半より營口公會堂にて行はれたが大石橋守備隊より森重大尉來營し匪賊討伐に關する約一時間半に亘る有益なる實戰談あり宴に入り門間所長の祝詞荒川領事の天皇陛下萬歲古川議長の陸軍萬歲三唱あり威勢よく在鄉軍人會歌を合唱し滿場立錐の餘地なきまでの盛會裡に同六時半散會した

開原

三月十日の陸軍記念日は午前九時三十分中央公園忠魂碑前に於て記念參拜を行ひ午前十時開原神社の西北方曠野に於て守備隊憲兵隊警備隊の參加せる壯烈なる模擬戰に廿七ケ年前の今日を偲ばしめ正午公會堂にて日滿官民合同の記念宴を催した同日は九日夜の雪は名殘なく晴れて旭日白雪の野を照し當時を偲ぶには好個の日和であつた

錦州

三月十日の第二十七回陸軍記念日には諸儀式を廢し正午より四師團司令部跡にて祝宴催後引き續きキリスト靑年會館に於て師團が京城より招聘せる柳燕路一行二〇名の落語萬歲等の餘興あり午後一時より約二時間一般市民の爲に特に公開せられた日支人共に潮の如く集ひ寄に立錐の地も餘さゞるの盛觀であつた

吉林の祝賀

【吉林】吉林における執政就任式の狀況は既報の通りであるが引續き十日午後一時より滿洲側は數千名よりなる旗行列に移り蜿蜒長蛇をなして萬歲の歡聲にもえつゝ行進午後四時終了した日側は午後一時より陸軍記念日の催し物として駐屯軍ならびに在鄉軍人は民會裏運動場において模擬戰を舉行し終つて午後二時より居留民約五百名朝鮮人民會側約一千名とゝもに旗行列を行ひ吉林未曾有の大盛況であつた、沿道においては日本軍隊を先頭にラッパを吹奏しいやが上に活氣をそへ長官公署前で全員集合萬歲を三唱して解散、午後三時

雪解を待ちて開墾と移住に着手

東亞勸業先づ乘出す

【奉天】滿蒙無限の曠野開拓に就いては拓務當局の積極的對策となり臨時議會に提出される豫算案は移民の移植となつて滿蒙大農業の勃興を豫想されつゝあるが民間各方面においても移民問題は逸早く輿論を喚起し既存移植民會社は勿論新に會社の設立も企圖されてゐる買收濟未開墾地十四萬町歩を有する勸業公司では過去の經驗と多額の投資を之等外部の企圖と關係なく積極的に活用すべく先般來協議中であつたが大孤山二千町歩を開墾水田となすと共に安東附近に有する未開墾地開拓のため花井專務は目下同地へ出張調査中である鮮人移民を主體とする同會社では先般來泰した新代議士朴春琴氏の意見を徴した上朝鮮總督府當局とも協議の結果引續き鮮人農の大移民計畫を立案した、尚內地農民の移入に就いては慎重考究の上先づ經驗農五、六百名の移入を行ひ成績に徴し追加移入を計ることゝなり今年中は十四萬町歩の未開拓につき滿蒙經濟調査會と連絡しつゝ徹底的調査を行ひ明春解氷期を期して農民の耕地入を開始することゝなつた

建國祝賀の艤裝艦

なごやかな春風に靡いて新國家の五色の旗は遂に掲揚された附屬地內外の氣分が一齊に充滿して各戶は祝賀裝飾に目まぐるしい先づ第一に安東驛の艤裝艦、ホーム全長二百十六米突であると云ふから軍艦陸奧、長門より十五米突長い譯である二本の檣頭兩面、中央には數百燈のイルミネーション艦前にはサーチライト、命名して安東艦、艦長驛長全く安東空前の催しだ、滿電は支店前に大々的のアーチを設けこれにイルミネーションを施しショーウインド內の裝飾は日滿親善を表徴し萬全を期してなり瓦斯は宴會場たる公會堂前に大々的の瓦斯かゞり火を提供して氣勢を添へてなりその他市民によつて設備された大アーチのイルミネーションは附屬地境界線內外を白晝化下に一緒し完備された裝飾の中に若き滿洲國を謳歌する日滿人約六、七萬の群衆の歡聲は夜を徹してオール安東の上空に響く【下は吉林の祝賀】

戰後に殘る輝しい武動

陣中美談の數々（三）

大石橋支局發

驚くべき剛勇

昭和六年十一月二十四日遼西耿庄子附近の戰鬪に早くも太子河を渡りて對岸に退却した敵は付近の船を一艘も殘さなかつた、此の日此の敵を追擊した第二中隊は此處迄來てはと當惑して了つた、敵はこれを奇貨に盛に對岸に頑張つて射擊をする氣味の惡い音を立てゝ彈丸は飛んで來るから味方の擊ち方だけではどうしても適はない、何んとかして對岸に渡つて早くやつつけなければならぬと心ばかりは焦慮にはやれども扨てどうすることも出來ぬ、丁度其の時稍上流に一艘の小船が取り殘されて居るのを發見した一同は小躍りして喜んだ、やがて其の船を引張つて來た事は勿論だがこれを對岸迄渡さうとするには向ふの船を持ち歸る事が一仕事だ夫れは那須の與市が降り來る矢丸を目して見事扇を射落した程の離れ業は無いかも知れぬが危險な事はどうして夫れどころの比ではない敵襲の構へた銃先での藝當である此の決死の藝當を進んでやつて退けたのが獨立守備第三大隊第二中隊の高木國三伍長、遠藤久男上等兵、佐々木省三上等兵、岡本康上等兵、岡久信一等兵、田中清一等兵、安田昌利一等兵の七名である此の危險極まる河の眞只中に木葉に似た一葉の小船を操りながら敵の銃先目懸けて漕ぎ行く有様は今様那須の與市であつた、平家の扇ならぬ眞黑つ氣の馬賊共が盛んに發砲どころか啞然として鐵砲の存在をも忘れてゐたのであつた

二兵士の沈勇

昭和六年十一月九日の曉まだき突如古城子の部落內に起つた戰鬪は實に激烈を極めたものであつた、如何に勇敢無比の我が兵でも狹い部落內の而も堅固な圍壁內に據る敵に對する、殊に肉彈をぶつ附けた處が陣地を粉碎する事は到底出來ないのだ、そこで城塞一決家屋諸共焼き拂ふに如かずとそこらの高粱や石油を集めて來たのであるが扨て如何にして火を點ずるかゞ問題である其時自ら點火の役を引受けて出た二人の者があつた見れば進藤文七騎兵軍曹と細川定一上等兵の二名である、二人は如何にするかと見れば石油をぶつかけた高粱稈をしこたま抱き込みながら雨と散る彈の下をするくと圍壁內に這入り込んで突嗟の間に火を點けた火は見る見る家屋に燃え移つて阿鼻叫喚の中に敵は文字通り算を亂して潰滅して了つた、此の危險極まりなき場所に於て機宜に適した機敏なる處置は軍隊平素教育を遺憾なく發揮し得たものであつて此の兩名の行動は軍人の模範とすべきである

祝滿蒙新國家獨立

四千二百名出席して 未曾有の建國祝賀宴
日滿人擧げての餘興

祝賀式、旗行列に引續いて滿洲國建設祝賀宴は電園下の廣場で行はれた、祝賀宴會場は入口に壯麗な大アーチ、正面には舞臺、場の周圍は紅白だんだらの幔幕を張りめぐらし場内は萬國旗を以て裝飾された、行列解散と同時に三發の煙火は打ち揚げられ午後一時豫定通り開宴されたが出席者は四千二百名に達し流石に廣い會場も立錐の餘地ないほどの有様である、この時賓性氏簡單に開宴を宣し次いで岡野市長代理は音吐朗々と

滿洲の天地に新しく建設された滿洲國を遙かに望み諸君と共に茲に祝宴を開く事を得たのは誠に欣快に堪へない、滿洲時局はわが自衞權の發動により暴戻飽くなき支那舊軍閥および匪賊の剿滅をなし東四省三千萬蒼生が王道に基き新國家「滿洲國」を建設するに至つた、明け行く滿洲の天地を日滿親善の樂土郷とし東洋の平和と日滿兩國民の幸福のため建設された滿洲國の前途を祝福したい

と挨拶し茲に擧げて滿洲國の萬歲を三唱し閉會したが藝妓、女給百五十名は酒間を萬遍なく斡旋し一方餘興として大連檢番美妓の清元「花かたみ」逢坂町遊廓組合總妓の「滿洲行進曲」小崗子遊廓組合傀儡の支那劇「覇王別姬」「坐宮盜令」「南天門」「馬前潑水」「生旅墓」等あり空前の盛況であつた

夜に入って愈々 昂つた祝賀氣分
大連全市火の海と化す

大連市の建國祝賀は夜に入つて全市火の海と化し祝賀氣分彌が上にも漲つたが就中大廣場附近は市役所の建物全部に施した電飾、隣接ヤマトホテルの目も絢なる樣なイルミネーション、中央に施設した裝飾塔、いづれも明煌々として暗に浮き辻々に灯された瓦斯かゞり灯と共にさながら一卷の繪卷物の如く、また山縣通り、大山通り、連鎖街、浪速町等目貫きの町筋には奉祝の軒燈や行燈が揭げられ晝をもあざむくばかりである、瓦斯かゞり灯は西廣場、常盤橋、伊勢町その他にも灯され、滿電會社はスカイサイン、鮮銀、遼東ホテル、三越、中央館、映樂館などもソレ〴〵意匠を凝らした電飾を施され、電氣遊園も電化された、その間を花電車や花自動車が交錯し全市到る處歡聲に滿ち未曾有の賑はひを呈した

降る大雪を衝いて 萬餘の群衆大行進
首都長春の建國祝賀

長春附屬地における日本人側の新國家承祝デモは十一日午前十時長春神社において滿洲國建國の奉告祭を終えて旗行列に移つた、當日はチラ〳〵と

雪が 降り出した午前十一時頃から各學校の生徒を始め續々と驛前廣場に集合したが一時から更に大雪となつた爲一同氣勢をそがれた感があつたけれど淨めの雪で萬餘の群衆は午後二時煙火を合圖に隊伍を整へ樂隊を先頭に驛前より出發地方事務所前を日本橋通りに出で吉野町を記念館前に至り獨立守備隊司令部前に萬歲を三唱東三條通りから南廣場日本橋通りを經て新國家假政府前に萬歲を叫び五馬路を南へ北門外を東へ市政府前にて萬歲を唱へ大經路を西に中央通りに出で長春神社前で午後三時半

解散 した、同午前十一時には機關時局後援會長そのほか假執政府及び市政府を訪問賀詞を述べたがそのデモの外藝者の手踊、假裝行列、山車等各珍考案をめぐらして附屬地から城内へ繰込む外爆竹煙火等も打ちあげることゝて活況を呈した【長春電話】

踊り狂つた 夜の長春

長春ヤマトホテルでは新國家建國祝賀の大夜會を十一日午後八時より同ホテル大ホールに於て開催したが場内は萬國旗モールで極彩色に裝飾燈々たる光の下に音樂隊演奏裡に盛裝の日滿紳士淑女を始め外人團も加はつて踊りつゞけて十二時長春稀に見る盛會裡に終了した【長春電話】

各地の祝賀

熊岳城

希望と歡喜に滿ち充てる熊岳城の滿洲國建國祝賀會は十一日午前十時小學校前廣場に附屬地學校生徒、農業實習生、日支官民、附近部落農民團等數千の群衆は勢揃ひしたが驛前大通りを埋め遂々たる前途を表徴する新五色旗を先頭に大旗小旗の波である、かくて定刻竹村總指揮官の挨拶あつてそれより直に神社、支那廟に參拜したが勇ましい樂隊の吹奏裡に蜿蜒長蛇の行列は驛前に亘り各要所要所で萬歲を唱へ未曾有の盛觀を呈した、正午より神社前で日滿官民合同祝賀宴を開き渡邊氏の祝賀演說、指導員の祝辭などあり次いで片山中尉の音頭で新國家萬歲を唱へて解散した、夜は奉祝燈を點灯し高脚踊で市内を賑し喜びを充分盡す筈【熊岳城電話】

營口

營口における滿洲國建國祝賀會は十一日午前十時より營口神社において市民の奉告祭あり、續いて旗行列に移り在鄕軍人會、青年團、各町内會、小學校生徒、婦人團體、合會等各自に新國家五色旗を手にして打ち振りつゝ營口神社より南本街に出でタルク會社前より引返して地方事務所角より折れて花園街に入り忠魂碑に參拜して解散、直に祝賀會を公會堂において開催したが滿洲國側よりは縣長、商務會長その他多數の來賓あり角町地方事務所長の祝辭縣長の答辭ありて盛大を極めた【營口電話】

鐵嶺

鐵嶺の建國祝賀會は朝來降雪激しく溫暖のため雪泥りとなつて天候險惡を極めたるも建國の喜びにふるふ滿洲側官民各團體は午前十時中學校に集合同十時出發城内を一巡し蜿蜒十數町に亘る長蛇の列を作り手に〳〵新五色旗を打ち振り泥濘の道を行進附屬地内に來り領事館、地方事務所、守備隊等日本側官公署を訪れて敬意を表し日本側は午後一時神社に於て建國報告祭を執行參列するもの官民、學生、各團體一千餘、降る雪中に嚴重なる祭典を終り忠魂碑に參拜同二時公園出發、樂隊を先頭に建國歡勇ましく守備隊に到り營庭に於て帝國陸軍萬歲を三唱し田所中佐發聲で大滿洲國萬歲を三唱營門を出で豫定の順路を經て城内縣政府を訪問前田祝賀會長より賀狀を呈し城内を一巡したるが沿道は歡迎と見物の市民で人垣を作り混雜した

城内巡行後附屬地に歸り公園町で鐵嶺空前の大デモを終り午後五時より公會堂に祝賀宴あり滿洲側來賓三十名を招待三百餘名の大宴會で盛會を極め七時から滿鐵館に於て祝賀演藝大會あり觀衆堂に滿ち各種餘興と共に盛況を極めた市街は到る所電飾美しく不夜城と化した遺憾だつたのは天候の不良でドンヨリとして終日暗く間斷なく降雪あり道路泥濘を極めて市民の出足をにぶらせた事である【鐵嶺電話】

普蘭店

日滿人の別なく各戶旗、提灯を揭げ祝意を表し高脚踊りは朝から市中を練り廻し賑やかであつた、午後一時二十分萬國旗で飾られた小學校講堂にて市民祝賀會を開く來會者日滿人二百餘名代表泉氏新國家を祝福して開會の辭を述べ市民大會の名を以て新國家に祝電する件を滿場一致可決、三宅軍人會長發聲、新國家の萬歲三唱で散會二時民政署前を起點とし數千の市民旗行列を爲し市中を一巡、滿洲國側一般民衆は南山神社に參拜同三時解散した【普蘭店電話】

金州

どんよりと曇つて氣遣はれた朝來の天候も強い西北風ながら正午には漸く晴れて一抹の瑞氣滿ち會場たる公會堂前に定刻前既に豫定數の六千名を越え、それに各所から出された假裝、踊等非常な人氣を湧かして午後一時より祝賀式が開かれた、先づ建國歡奏樂裡に新國旗を嚴かに揭揚し

加世田會長の式辭、安永民政署長、寺尾警察署長、曹金州會長張商務會長の祝辭の後加世田會長の發聲にて新國家の萬歲を三唱して旗行列に移つた

行進の途次行列に加はる者無慮數千、僅に一萬人を越えて蜿蜒十餘町の大行列となり、未曾有の盛況を呈し、これを見送る日滿人は歡喜、感激の裡に彼我喜びつゝ國所に起る煙火に一入祝賀の氣分を添へて午後三時南山に到着した、南山上では、曹金州會長の歡喜に滿ちた挨拶あり、萬歲を三唱して各假裝者に賞品を授與、冷酒を汲み交して下山、直に午後五時より金州小學校の祝賀宴に向つた、出席者二百數十名、岩間德也氏の挨拶に日滿兩國人は新國家の建設を祝ひつゝ同七時終了した【金州電話】

滿洲里支那官憲 建國祝賀を妨害
我領事より嚴重抗議

【滿洲里特電十一日發】滿洲里では支那側で建國祝賀に反對したゝめ何等催しものなくたゞ海拉爾で蒙古政廳が新國旗を揭揚し衷心祝意を表したのみである、本日の滿鐵主催の活動映寫にも白系露人は入場したが支那人の入場は支那巡警が妨害したので領事は嚴重抗議した、空氣はなほ險惡である

昨夜の奉天

奉天の建國祝賀は十一日夜に入つてます〳〵熱を加へ、驛前、中央廣場、給水塔などには五色のイルミネーション美しく輝き未曾有の盛觀を呈しまた六時三十分からヤマトホテルにおいて市民の盛大な祝賀宴が開かれた【奉天電話】

懷德縣の祝賀

旣報莊嚴なる建國祝賀式を九日擧行した懷德縣公署は十一日午前十一時支那街全部市民の旗行列を擧行した、先頭に音樂隊を立て小學生、商務會員、農務會員、縣公署の會員、公共各團體、一般市民の中に高脚、龍頭、音樂、各種の假裝隊を挾み八千餘名の大旗行列は蜿蜒數丁にわたり支那町附屬地の全市街を一周し守備隊司令部にいたり敬意を表し東踏切を通過、支那町にもどり解散した、縣公署は同日午後四時公會堂において盛大なる祝賀宴會を開催、來賓としては日本側より多數の官民出席し一同着席するや縣長の開會の辭に續き地方事務所長の答辭ありて一同乾杯、日滿の藝妓酒間を斡旋し、餘興の手踊り支那芝居等に主客歡談和氣靄々裡に八時閉會の筈【公主嶺電話】

滿洲國の 大祝宴

滿洲國では來る十二日午後四時より建國慶祝大宴會を賓宴樓において開催することに決定日本側各方面多數に招待狀を發した【長春電話】

大祝賀宴

上から電氣遊園下廣場の宴會場に押しかける市民祝宴

『乃公出でずんば』 カポネの出獄嘆願に
全米の人氣又湧き立つ

【シカゴ十日發】晝の世界はフーヴァーが、夜の世界はカポネが支配すると謳はれるシカゴのギャング王アル、カポネは目下クックグン刑務所に在るが今回突如聯邦政府に保釋出獄を願出た、右は目下全米を沸き立てゝゐるリンデイ二世の誘拐事件に關し是非一骨折りたいと云ふにあり新たな衝動を起してゐる

大がゝりとなつた リンデー二世事件

馬占山の舊部下 黑河で叛亂
宮崎民會長だけ逃れたが 殘る邦人、安否不明

【ハルビン特電十一日發】馬占山の本據黑河地方は馬氏が出發以來反吉林軍の潛入、排日煽動を行つたので最近同地方は全く排日熱に包まれてゐた處、十一日拂曉一時俄然馬占山氏の手兵中に兵變起り、邦人家屋の襲擊を開始掠奪を始めた、民會長宮崎稚志氏は身を以てアムール河の氷上に逃ち早く逃れ露領内ブラゴエシチエンスク日本領事館に避難したが、殘餘の邦人十二名は全く消息不明である

玉城喜四郎一味 執行猶豫
關東廳購買組合不正事件 十一日判決言渡

關東廳購買組合大連支部不正事件公判は十一日午前十時から大連地方法院に於て野本裁判長係り開廷被告玉城喜四郎は檢察官求刑通り懲役二年六月の判決を言渡され其他被告十名は何れも體刑ながら執行猶豫の溫情ある判決を下された一味の判決左の如し

詐欺業務橫領 懲役二年六月 玉城喜四郎
詐欺 懲役一年(五年間執行猶豫) 李昌彬
懲役十月(三年間執行猶豫) 內田連城
懲役六月(三年間執行猶豫) 宜志富宏
懲役一年(四年間執行猶豫) 今井職
懲役一年(三年間執行猶豫) 藤岡俊一
懲役六月(三年間執行猶豫) 和泉爲次郎
懲役三月(二年間執行猶豫) 安達登
懲役三月(二年間執行猶豫) 山國証次郎
懲役三月(二年間執行猶豫) 田中矩一
懲役三月(二年間執行猶豫) 逢阪定市

剿匪軍を懷柔し 兵匪團勢力增大
寧安縣附近不安加る

【吉林特電十一日發】寧安縣地方は最近王德林ならびに劉快腿の兵匪が侵入して盛んに剿匪軍を金錢と甘言をもつて懷柔し官兵はこれに誘惑されつゝありて同縣駐屯の步兵二個連騎兵三個連はすでに買收されて遂に逃走の上彼等に加擔したるため殘りの部隊は僅に城内に百名くらゐあるに過ぎぬ有樣であると、また保衞團の全部も劉快腿に買收され殘る警團側もすでに動搖しつゝある模樣だと、これがため兵匪側の勢力は三千以上となり寧安縣の東北方百四十支里五河林一帶にその主力は蟠居しますます激增する模樣だと

人氣をあつめた
學用、子供用品陳列卽賣會 けふは第二日目(會場は本社樓上)

十一日蓋を開けた本社講堂の學生服、學用品及び子供用品陳列卽賣會第一日は恰度建國祝賀の催しとかち合つて午前中は人數もまばらであつたが午後になつてこの方面の人出が會場に雪崩込んで森永製菓會社寄贈のキャラメル五百個も忽ちさんでしまふといふ盛況で小供服や滿洲牧場の牛乳の無料接待などにいよ〳〵人氣を添へた、陳列品が入學や進級のよろこびを迎へる可愛い子供に買つてやり度いものばかりではあるし、しかも信用の置ける商品を特に廉價で提供してゐるのでどの參加店も人手が足りぬほどの景氣で豫想以上の賣上や豫約があつて午後五時に終つたがなほ十二日は午前九時より午後五時までで、昨日と同樣いろ〳〵な餘興や奉仕がある筈

井上昭自首
五人組の黑幕

【東京十一日發】血盟五人組の最も重要な背後の人物としてその所在が略判明せるにも拘らず微妙な關係から容易に逮捕の手が下せず警視廳を焦慮させた井上日昭事井上昭([illegible])は遂に自首の決心をなし十一日午前十一時潛伏先から石波搜査課長に伴はれて警視廳に出頭した、警視廳では俄然緊張し直に同人を松本刑事部長室に連行、嚴重取調べを開始した

古內榮司逮捕

【東京十一日發】井上準之助射殺犯人の連絡する所謂血盟五人組の一人古內榮司は警視廳搜査の手をかいくぐつて行方を晦ましてゐたが十一日午後四時同事件の黑幕人物として嘗て警視廳に參考人として召喚を受けた國學者權藤成卿の市外代々幡町の自宅に潛伏中なる事を突きとめ警視廳の[illegible]一行が同時に踏込み同人を逮捕して引揚げ目下嚴重取調べ中である

古內の罪狀

【東京十一日發】古內榮司の罪狀は今迄の警視廳での取調べにて判明せるは彼は二月十五、六日頃迄本鄕區西片町の井上某方に在り菱沼五郎と屢々會見し菱沼に團琢磨暗殺を使嗾しピストルと金四十圓を與へたもので其の目的は日本國民黨の主義により既成政黨や財閥を殺さんとしたもので教唆罪は免れぬと見らる

日本汽船遭難
船は加久丸

【マニラ十日發】本日午後日本汽船からのSOSを當地で受信した同船は船艙から火災を起しつゝヒリツピン、ミンドロ島パルアン灣に急行中で米海軍當局は救助艦を派遣した、遭難場所北緯一三、一二度東經一一九、三三度で乘組員四十名であると

【マニラ十一日發】比律賓群島のミンドロ島西北方の海上で十日正午日本汽船加久丸は火災を起し急報によりマニラよりアメリカ驅逐艦急行目下同驅逐艦に曳航されてミンドロの西岸に航行中救命及び[illegible]

門司鐵道局 全燒す

【門司特電十一日發】本日午後五時半門司鐵道局本館橫手の職員集合所より出火し折柄の強風に煽られて火は猛烈に燃え上り二階建宏壯なる同建物(食堂、王突其他附屬室多し)全部を瞬く間に燒き盡し更に本館經理課の屋根に燃燒したが各消防必死となつて喰止め調査係、印刷所、經理課等の建物は辛うじて燃燒を免れた、道路の向ひには鐵道病院、滿鐵會病院、大阪毎日支局等建ちならび混雜を極めてゐる

海靑駐屯軍 兵變を起す

【吉林特電十一日發】黑龍江省海靑駐屯軍は兵變を起して七日早朝[illegible]

安東の腦脊髓膜炎
いよ〳〵猖獗

囊に腦脊髓膜炎を出した安東大和小學校は十日又々一名の患者發生したので遂に同校は十二日より五日間臨時休校することゝなつた、安東の本年度患者累計は九名となり大恐慌を來してゐる【安東電話】

伯國勳章下賜

【東京十一日發】理化學研究所辻次郎氏にベルギー皇室から勳五等勳章御下賜の通知があつた、これは先年伯國に開催の萬國會議に派遣され光彈性學の講演し同國の物理學界に貢獻した功に依るものである

チャップリン
カイロ見物

【ポートサイド十日發】六日ナポリ發の日本郵船諏訪丸で渡日の途についた喜劇王チャールス・チャップリン氏は十日午前ポートサイド着直に自動車でカイロ見物に向つたが十日夕刻までにスエズに赴き同地から再び諏訪丸に乘船の筈である

孫文氏七周祭
北平で記念祭

【北平十一日發】十二日は孫文氏逝去七周年に當るので市黨部主催のもとに中山公園に於いて盛大なる記念祭を行ふ事になつた一方公安局は衞戍司令部及び憲兵司令部の應援を得て萬一の場合を慮り警戒を嚴重にするが特に各大學校の示威遊行等に於ける集會宣傳ビラ撒き[illegible]する事となつた

寧古塔駐屯 將士に
聖旨を傳達

【寧古塔特電十一日發】聖旨、令旨傳達の爲め阿南侍從武官は十一日正午飛行機にて寧古塔着莊嚴な傳達式を天野○團長以下列席にて擧行即時ハルビンに引返した

ペナンに 支那人暴動
祝勝騷ぎから

【シンガポール十日發】南洋協會への入電に依れば上海に於ける日本軍大敗の虛報は六日夜ペナンに傳はり支那人の祝勝騷ぎから暴動化し警官と衝突し負傷者を出した邦人は無事なるも不安の念に驅られてゐる

しつゝあるがその兵力二千餘にして且つまた精銳なる兵器を有してゐるので討伐も相當容易ならずと

奉撫沿線の 匪賊を討伐

奉撫沿線附近の支那部落に蟠居する多數匪賊を討伐中であつた李山軍は十日奉天に引揚げ奉天城に分宿したが、數日來奉天城を襲擊せんとして東大營、東陵方面に跋扈してゐる賊の大集團を徹底的に討伐のため十一日早朝を期し攻擊開始に決定した【奉天電話】

南洲追慕法要
十二日奉天で

在奉天有志主催にて十二日午後七時より富士町妙心寺に於て大連南山老師の献香を請ひ西郷南洲先生追慕の大法會を開催し併せて先生遺墨の持寄り展覽をもなすと【奉天電話】

彌生高女生の 內地見學

大連市彌生高女では十四日第十三回卒業式擧行後の十五日、茶谷、南部、福田、松村の諸教諭及び看護婦一名附添の上第八回母國見學修學旅行團員(三年生)約百二十名は午前九時大連驛發滿洲事件における皇軍の奮闘狀況を見學し鞍山を經て撫順の上愈々憧れの母國に乘込み內地各地の興味深い所名勝跡を探勝し帝都見學の上四月二日大連着のうらる丸にて歸連の豫定である

客馬車狂奔
乘客の藝妓負傷

十一日午後一時四十分ごろ沙河口馬車取客所內鄧文溝(二)の馬車が市內[illegible]比須町二番地先を疾走中突然馬が狂奔し出したため乘客の伏見臺西崗檢番藝妓濱邊スナヨ(二三)が車上より跳出され馬車は數十間を引ずり車の下敷となつて四間餘を引ずられ人道に乘りあげて漸く停車したが跳ね出された濱邊スナヨは後頭部を强打し全治十日間を要する傷を負つた

王德林部隊 を更に討伐

【海林特派員十日發】七日及び九日海林を襲つた匪賊は王德林の部下劉滿伯が指揮して海林の東方約十五里石道溝に根據し、一味七八百名を有し七日夜は海林の東西兩方面より襲擊し武器及び糧食を奪はんと潛入したが一人の賊が針金につまづき發砲この音に驚いた全部隊は一齊に發砲したので目的を果さず日本軍に發見され潰走せしめられたもので彼等は十日またく石道溝に集結したので十日わが軍はこれが討伐に向つた

注射料を掏る

十日午後八時ごろ小崗子署にかねて注意中の市內福德街モヒ密賣者方に出入してゐる擧動不審の支那人を小崗子署員が發見引致取調べの結果この支那人は河北省生れ當時住所不定の郭金齋([illegible])と言ひモヒ中毒のため注射料に窮した揚句小崗子露天市場を中心として昨年七月ごろより四十數回に亘つて掏摸を働いてゐたことが判明引續き餘罪取調中

肉彈三勇士慰問金 ▲五圓馬場城內中島直木▲同上花村偶▲同上柿木原東一▲三圓花園町田中良平

曙の鐘 (223)

倉田潮　河野想多畫

ちぎり（一）

あけみは夜更けの庭を靜かに森の方に歩いて行つた。

この二三日の中に春はひどくほ暖くなつて、草の芽は皆黑土の上に針のやうな首をもたげ、枝には若葉が皆小さい掌をひろげてゐた。

夢り夜さは云ひながら、月が何處か雲のうしろに上つてゐるらしく森の中にもほのかな銀色の光りがあつた。

あけみは舞踏會の夜に吉川と約束した凹地のベンチに近づいた。吉川の姿はまだ其處になかつたが必ず逢ひに來るのは解りきつてゐた。

彼女は靜かにベンチにかけて來る可き人を待つた。吉川がおよりと共に謀つて、今迄何んなことをしてゐたか。父剛太郎に對して、何んな不正なことをたくらんだか——あけみはそれをよく知つてゐた。が、それと戀とは全く關係はない。彼女は吉川の心よりも、吉川の姿を——肉體を戀さうとしてゐるのだつた。たとへ吉川が何んなに惡らつな人間であつても、戀の爲に人を輕蔑するほど彼女は道徳的な人間でなかつた。

ふとあけみは空を見あげた。黄色く澱んだ闇夜の空を、渡り鳥が懸しげな聲に鳴きながら渡つて行く。その鳥の姿を見出さうとしてゐる中に、雲の背後に光りのない銀紙のやうな月の形がゆるやかに流れてゐるのを見出した。

「雲、月を流さんとして、已のみ流る」

西詩の一句がふと胸に浮んだ。あけみは月だつた。マリアのやうな雲がその月を已の道に合流させようとしても、月は流れないで雲のみ流れるのだ。毅然として月は常に已の道を歩いて行くばかりである。

足音が忍びやかに近づいて來た。さすがにあけみの胸は顫へた。戀に征服しようと思つてゐながら、その胸は怪しく顫へた。

柔かい春の闇をすかして見ると黑い人影が忍びやかに此方に近づいて來る。吉川だつた。が、吉川であると、彼女は思ふまいとした嬌い時彩の野路に迷つた折に、その霧の奥から靜に彼女を呼びかけてゐた美しい聲の主が、今彼女を訪れて來るのだと思はうとした。

あけみは美しい空想に醉はうとして、眼を輕くとぢた。大理石のやうな白い皮膚に、長いまつげが雅な影を落した。

「あけみさん」

肩を輕く打たれたのに、黑瞳をパッチリと彼女は見開いた。

フランスの畫家の着る立て襟の洋服をつけて、吉川がそこに立つてゐた。不健康な青白い顔に、品のいい眼や鼻が淋しいやうに美しかつた。

あけみは其の顔に見とれながら呼吸も苦しげにホッといつて、無言にうえたやうに男の手を握りしめた。

吉川はしなだれかゝるやうにあけみと寄そつてベンチにかけながら、

「僕は幸福です」

と腕を女の肩にまいた。

「私も幸福だわ」

二人は顔を見合せた。唇が次第に近づいて行く。が、まさに其の唇がふれ合はうとした瞬間に吉川は囁くやうに訊いた。

「より子さんのしたことは、ほんとに忘れて下さいね」

「ああ、およりは屋敷を立ち去りましたよ」

「さうです、知つてゐます」

「それであなたに逢つたのです

れ」

「……」

「逢つて私に對する對策をあなたと二人で考へて來たんですれ」

吉川は恥じたやうに首をたれてうなづいた。あけみは嫉妬に心をそゝられながら、しつかりと吉川を抱いて囁き返した。

「私、あなたがおよりと斷然手を切らなければいやだわ」

第十一回 滿日勝繼碁戰（渦淺式四回 勝五回目）

先　渦淺四郎氏　城　唯二氏

—【7】—

●一二一 ワ十八　●一二五 ソ十三　●一二九 ソ十二　●一三三 ル四　●一三七 リ三

○一二二 リ十八　○一二六 ソ十一　○一三〇 ヌ二　○一三四 チ五　○一三八 リ四

●一二三 ソ十四　●一二七 レ十二　●一三一 ル二　●一三五 リ二　●一三九 ヌ五

○一二四 レ十三　○一二八 ソ十五　○一三二 ル三　○一三六 ヌ四　○一四〇 チ三

新刊紹介

▲赤い鳥（四月號）新らしい童話、童謠、童謠の作曲、自由詩、自由畫を滿載し子供のために純藝術的、教育的に創つた雜誌であると、共に一方綴方を根本的に教導開發してゐる（定價三十錢、東京府西大久保四一六赤い鳥社發行）

▲アマチュア、カメラ（三月號）愈々寒もあけ草木萌ゆる陽春三月の候となつてカメラマンの嬉しい時である。別刷印畫、刷込印畫、記事にはアマチュア、カメラマンに取つて貴重なものばかり（定價二十錢、東京西巣鴨町宮仲二二三八紀文閣發行）

滿日柳題募集

△題「便衣隊」「登」「新國家」△締　三月十五日に延期　△句　各題五句必ず別紙のこと　△宛　大連市能登町十高橋月南

▲家事及裁縫（三月號）洋服の型の史的研究（和田哉子）は興味あるもの、支那服の作り方（三松八千代）家事裁縫科の實際問題の諸研究は最も讀者に關係あるべき必讀のもの（定價五十錢、東京市牛込區矢來町二十二番地家事及裁縫社發行）

▲グライダー（三月號）定價三十錢、東京市牛込區下宮比町十五正興館發行

▲大乘（三月號）上海事變に直面して（定價四十五錢、京都伏見桃山三夜莊大乘社發行）

▲棋道（三月號）定價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院發行

▲ファッシズム（三月創刊號）定價二十錢、東京市外中目黑五八三日本ファッシズム聯盟發行

▲つはもの（第三三三號）定價四錢、東京市牛込區原町三ノ八つはもの社發行

▲合萠（三月號）定價二十錢大連市柳町三番地滿洲短歌會發行

▲滿洲短歌（三月號）定價三十錢、大連市桃源臺二九六滿洲鄉土藝術協會發行

▲川柳人（三月號）定價三十五錢

東京市外杉並町馬橋二六〇柳樽寺川柳會發行

▲新使命（三月號）定價三十錢、東京市芝區白金三光町三〇八新使命社發行

▲心靈と人生（三月號）定價二十錢、橫濱市鶴見區北寺二三三六六番地心靈科學研究會發行

▲醫者の噂（三月號）定價十五錢東京市日本橋區本石町四ノ十一明被社代理部發賣

▲海防（三月號）定價二十錢、東京義勇財團海防義會發行

▲ハーモニカニュース（三月號）定價十五錢、全日本ハーモニカ聯盟本部

▲滿洲評論（第九號）動く上海事件と支那（林昌彦）國民政府對日方針の行詰り（大塚令三）上海に於ける日本の經濟的地位（嘉村龍太郎）滿蒙新國家を築く人々　于冲漢（下）（征一郎）新國家に關する支那紙論調、上海外字紙の論調等（定價十錢、大連市淡路町七番地滿洲評論社發行）

▲滿鮮（三月號）滿鐵總裁の恒久性と對滿政策の確立、大連財界の脚、在滿邦人のわしが國さ、日支問題の解決、支那社會の癈疾二大秘密結社、滿洲事變中漫談等々（定價五十錢、大連市須磨町六滿鮮社發行）

▲週刊極東（第三三九號）定價二十錢、大連市但馬町三十三番地極東週報社發行

▲國際知識（第三號）上海事件と世界の輿論（卷頭言）滿洲問題と英國の輿論（川原次吉郎）聯盟規約十二講（橫田喜三郎）平時封鎖の合法性とその利害（大山卯次郎）我金本位離脫の世界經濟的意義（平尾彌五郎）定價四十錢、東京丸の內二ノ十二國際聯盟協會發行

▲東亞經濟研究（第一號）支那の學問の固定性と漢代以後の社會（小島祐馬）近代滿洲歷史序說（矢野仁一）印度支那の民族運動と社會運動の交流、向井章）各國爲替管理の現狀（德重伍介）銀問題の展望（二宮丁三）滿洲における日支兩國民（德永清行）定價五十錢、山口高等商業學校內東亞經濟研究會發行

▲財政經濟時報（三月號）財政緊縮の困難（小野義一）金本位制の將來（荒木光太郎）上海事件を中心として（岡野俊吉）ソウエートと資本主義國（モロトフ）金再禁止後の財界（井上準之助）人造絹糸市場について（柿沼谷藏）株式論議の原動力（山口竹堂）大英帝國更生の道（XYZ）定價四十錢、東京市麴町區有樂町一丁目四番地財政經濟時報社發行

▲ソウエートの友（三月號）ソウエートの現在を現すに最も端的な寫眞グラフ、それに讀みもの、附錄がある（定價十五錢、東京市京橋區銀座三丁目ツ土上（三月號）定價二十五錢、東京市牛込區若松町八二土上發行所

▲法律新報（第二八二號）定價二十錢、東京市麴町區丸の內三丁目十二法律新報社發行

けふの放送

東京 JOAK

三月十二日午後六時卅分

▲時事講座（上海の飛線を視察して）海軍大佐武富國重▲義太夫（攝州合邦辻合邦內の段）淨瑠璃竹嚴太夫、三　線鶴澤門左衛門▲琵琶（川中島）永田錦心、大館錦旗▲ピアノ獨奏（展覽會繪）「ムソルグスキー作」レオ、シロタ

大連 JQAK

十二日自午後六時五十分

▲ニュース
▲獨逸語講座（テキスト）第三十九課大連語學校講師林榮
▲講話（上海慰問の實感）眞言宗滿洲開教監督菅野祥禪
▲ピアノ獨奏（イ）朝ゴダール作（ロ）ポリスゴドノフ第二幕「ムソルグスキー作」メデウエデフ夫人
▲ラヂオドラマ（祖國の血）樂劇座佛國軍事探偵アレキサンドター中尉（淨瑳）其の子ジヤック（森諏訪子）露國將校ニコライ大尉（吉岡曜七）同タヤコスキー少尉（河合正己）傳令兵（島田繁也）
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

戰場挿話

S一等兵のうちあけた話

滿目荒涼只徒らに廣い滿蒙の大平原の彼方に、赤い夕陽が靜かに沈んで行かうとする頃。二十五杆に亘る長い追擊を終へた〇〇枝隊は、とある丘陵の下にしばしの疲勞を休めることになつた。テントを離れて數人の若い兵士が、何やら朗らかに話しあつてゐる。

A「どうだい今日のSの元氣は！實に素晴らしいもんぢやないか。」

B「全くだよ。あの野郎獅子づきやがつて、まるで戰爭を自分一人のものの樣に心得てやがる。」

C「さうだよ。山でも河でもいつも眞先かけて行きやあがる。」

D「うむ。」

E「いつそのこと彈丸にでもあたつてくたばりや良いに……」

A「おい〳〵冗談いふなよ。忠勇の兵士一人でも戰鬪に死なせてなるものか。」

B「それもさうだ。」

C「いやな樣—」

D「うむ。」

E「それにしても、どうしてSの奴あんな元氣が出るものかな。」

兵たちは皆不思議がつて小首を傾げてゐる。しばらくしてから、むつつり屋のDが、

「Sは越後の山育ちだと云ふから大方熊の生膽でも舐めて育つたのだらうよ。」

A「冗談ぢやない—今の時世に。」異口同音、

「ぢやいつそのことSに訊いて見ることにしよう。」

兵たちは嫌がるSを無理矢理にテントの外へつれ出して。しつこくあれやこれやと訊いてゐる。たまりかねたSは、大して惡びれた顔もしないで、

「これだよ。母親の眞心こめたおくりものなんだがね。」

と云つて差出したのは、黑地に白く字を拔いた小函だつた。まだ暮れきらぬ黃昏の光にすかして見ると「妙布」とあざやかに書かれてゐた。

妙布——といつても數多い皆さんのうちにはまだ御存じない方があるかも知れませんが、リウマチス、神經痛、疲勞、肩のコリ等に驚くほどの效果をもつてゐる有名な藥なのです。從來の斯種の藥の樣に單に血管の末梢部を刺戟する樣な姑息なものではなく、中樞神經を適度に刺戟して血液の循環を佳良にし、筋肉の運動に必要な榮養素を補給する機能を旺盛にする作用が強いのであります。だから妙布は鬱血を散らし、筋肉の疼痛・リウマチス、神經痛、疲勞の回復等には素妙神の如き獨自の作用をもつてゐることはいふまでもありません。何の病氣でも、病氣は早く治療するのに越した事はありませんが、殊にリウマチスは早く治して置かなければなりません。といふのはリウマチスの毒素は身體全體を巡つて種々の害を與へるからであります。さうなつてからはいくらあせつてももうどうすることも出來ないで、甘んじて人生の落伍者とならなければならぬのです。「病は急げ」といふ諺がありますが、この新聞記事を見て御近邊の藥店にお求めの方がありましたら早速實行して御らんなさい。そして張りある人生を明るく愉快に暮す樣につとむべきです。一寸した疲勞は一般病氣といふものは最初のうちが肝心ですからどんなに輕微な疲勞でも輕視しないで、直ちに『妙布』で治さなければなりません。「晝間の疲勞は其夜のうちに治すこ」これが健康、長壽の秘訣なのです。で就寢前に『妙布』を貼つて寢れば必ず熟睡することが出來ますからさうすれば翌朝起きた時にも自然と精神が爽快となつて、健康の歡喜を味ふことが出來ます。

明日といはず、今日直ぐにお試し下さい。西洋の有名な諺にもぐづぐづと考へてばかりゐるうちに幸福の小鳥は逃げて行つてしまふ」といふことがあるではありませんか。

『妙布』は全國の信用ある藥店にありますからお求め下さい。

歡喜と感激をこめて、けふ建國祝賀の盛擧
春淺き三月十一日の新天地にどよめく萬歲の聲

滿蒙の天地に黎明は訪れた、燦として輝かしくも生れた滿洲國では元首溥儀氏の晴れの就任式も滯ほりなく終へ、茲に春草の如き生氣溌剌たる獨立國家の正裝を凝らして世界史上の舞臺に躍り出た、今や滿蒙各地には瑞雲棚曳き、やがて來るべき平和と幸福の愉悅に浸る隣邦三千萬民衆はさながら醉へるが如く歡喜の絕頂に欣舞してゐる、この光輝ある滿蒙維新の大業完成を壽ぎ、かつ東洋平和のために隣人と共にその喜びを頒つべき日本側の熱誠罩めたる建國祝賀式は春淺き三月十一日を期し全滿一齊に擧行された、この日大連市では市主催の下に午前九時から忠靈塔下の滿倶グラウンドに於て日滿市民相集ひ、華々しく擧行し式後幾萬の日滿民衆は蜿蜒長蛇の列を連れ、建國歡を高唱しつゝ手に安居樂業の理想を表徵する新五色旗を打ち振りながら全市隈なく一大デモを行ひ、終日春の大空は歡喜と萬歲のどよめきに打ちふるへた

日章旗、五色旗の交錯
先づ意義深き建國祝賀式

建國祝賀式場の滿倶グラウンドには日の丸と新五色旗の交錯を風舞させ、肌寒き、春風に頬を染めながら參加團體が陸續として繰込み、さしも廣きグラウンドは公學堂、各小學校、各中學校、各女學校生徒が整然と列び、在鄉軍人、婦人會其他團體及び一般日滿市民をもつて埋められた、定刻午前九時春空にさゞろく煙火三發を合圖に建國史上に永へに記念さるべき開會の幕は切つて落された、式場正面に取付けられたマイクロホンを通じて總務課長の開會の辭が朗かに流れ出る、次いで別項の如き市民代理岡野助役の式辭、滿鐵總裁、大連商工會議所會頭、支那側公議會及び時局後援會長の祝辭朗讀あり、大内市會議長の發聲で「滿洲國」萬歲を天地も裂けよとばかり三唱し、煙火三發を打ち上げて意義深く閉會直に音樂隊を先頭に一大行進を開始した

續いて祝賀旗行列
全市に高潮された平和友愛の渦
五十四團體の大行進

建國祝賀式を盛會裡に終つて午前十時いよ\/＼延々二里餘に亘る大行進は開始されることゝなり、早春の空に爆發する五發の煙火を合圖として先づ騎馬隊を先頭に日滿各方面五十四團體、一萬五千餘名の長蛇の列は式場滿倶グラウンドを出發した、先づ道を中央公園正門より若狹町に採つた、各團體毎にリーダーの

＝發聲＝

によつて建國祝賀の歡が高唱され、新國旗たる五色旗が手毎に打ちふられたが、歡は綠山に反響して早春の空に響き渡り、小旗は街路に滿ちて日滿親善、滿蒙樂土の朧々たる平和友愛の波を形づくつた、行進は大連神社前に到つて默禱をなし純明町を大廣場に下つたが大廣場に於ては市役所、ヤマトホテル、大連署前に於て何れも萬歲を叫び、更に滿鐵本社前に進んだが、ヤマトホテルでは行列を迎へて大小數十發の煙火を打ちあげて慶祝の意を表し又一般市民も大連の中心たる大廣場に雲集して行進に和し手旗の波を揺がしてゐた、滿鐵本社及び滿洲日報社前で

＝萬歲＝

を叫んだ行列は道を紀伊町より浪速町、柴町と繰出したが、街は全くのお祭り氣分で行列の後部に附いてゐる一般團體には續々飛び入りがある有樣であつた、行進最後のコースたる小崗子に先頭が入つたのは午前十一時半、この時最後部はやつと大連神社前を過ぎた頃で、この行進が如何に盛大であるかを思ふに充分である、小崗子に入つてからは東關街より天后宮に向つたが滿石本日の祝賀會の中心たる滿洲人街のことゝて公議會の議員連が全部出て

＝行列＝

を迎へ、又一樓館よりも高脚踊りや種々な催し物が出て非常な賑はひであつた、[illegible]下の解散場へ到着したのは正十二時頃でここで到着順に各團體毎に解散したが最後の組が解散したのは午後一時であつた、かくて數日來に引きかへて少し寒さを覺えさした盛天ではあつたが、新國家建設の喜びに溢れた大行進から一組の脫落も落伍せず無事慶祝の遊行を終つた

式辭と祝辭

大連市長式辭

維時大同元年三月九日東北四省三千萬民衆は翻然舊軍閥の羈絆を離脫し自發的願望に依り茲に獨立の大業を完成し以つて建國の盛儀を擧ぐ、諧に慶賀に堪へざるなり、惟ふに日支兩國民は由來同文同洵にして脣齒輔車の關係を有するに拘らず遠交近攻政策に禍せられ眞に善隣敦誼の實を擧げ得ざりしは隣邦日本國民として吾等の均しく遺憾とする所なりき、然るに滿洲事變發生以來皇軍自衛權の發動は舊軍閥の沒落となり舊政權の壞滅となる此の絕好の機會に滿蒙大衆の自發的慾求に基き國際道義に則る門戶開放、機會均等の大旆を揭して世界人類福祉のために理想的平和鄉を顯現すべく新國家建設を見たるは東洋史上に一新紀元を劃したるものにして啻に當國民の慶福たるのみならず眞に空前の盛事にして東亞禍亂の禍根を斷つべく茲に兩めて王道に基く善政を布き保境安民、種族協和の實を擧げ燦然たる文化の興隆に依り國基愈々鞏固となり轉て東洋和平の楔子たり得べきは蓋し遠きにあらざるべし、玆に本日の吉辰をトし大連市民相會して新國家建設の一大盛儀を擧げらるゝに方り謹みて新國家の健全なる發達を祈願し滿蒙三千萬民衆の光明ある前途を祝福して已まざるなり、一言所懷を陳べて式辭とす

昭和七年三月十一日　大連市長　小川順之助

滿鐵總裁祝辭

今次滿蒙三千萬民衆の大同支持の下滿洲新國家の建設成る、洵に在滿民衆の幸福たるのみならず諸外國の受くる福利亦鮮少ならず、是れ輒て東洋の和平を進め世界人類の福祉增進に寄與する所以にして吾人の欣快措く能はざるところなりとす、此の意義深き一大盛儀に當り全大連市民諸君が熱誠なる祝意を表すべく本日大連市主催を以て其の祝賀式を擧行せらるゝは眞に適切機宜の御企畫にして慶賀に堪へざるなり、希くば市民各位に於かれては新國家の前途を祝福すると共に將來益々日滿兩國民の親交を深め滿洲國繁榮の爲め多大の貢獻を致し以て今回の盛儀をして一層光輝あらしめられんことを聊か述べて祝辭に代ふ

昭和七年三月十一日　滿鐵總裁伯爵　內田康哉

大連華商公議會祝詞

今滿洲新國の建業基を開くに逢ひ一人の元良連に應じて出づ大連市兩國官紳商民聯合して盛大なる祝賀の典禮を擧行す大連華商公議會敬しんで鄭重なる祝詞を致し公意を伸達す　其詞に曰く

滿洲建國　聖啓滿關
物華天寶　文化宣敷
推戴元良　秉鈞執政
氣象更於　謳歌景命
外交輯睦　內治休明
人民熙樂　永慶升平
共存共榮　同心同德
日月光華　星辰拱拱

大連華商公議會　會長　張本政

西崗華商公議會祝詞

大連市兩國官紳商民新國家成立盛典の爲に聯合して祝賀大會を擧行す謹んで本會全體を代表して敬しく祝詞を陳べて曰く

滿洲建國　景象振振
周雖舊邦　其命惟新
執政就任　應天順人
扶乾出震　發號施仁
內政修明　集只宜民
外交協和　誠信睦鄰
同心共濟　剛劍精神
太平有象　昌盛無垠

大同元年三月十一日　西崗華商公議會　會長　[illegible]

小崗子方面の雜沓

新滿洲建國を祝福する今日の小崗子方面は早朝より各商店軒毎に新國家の新しい五色旗が日の丸の旗と交叉し「共存共榮」「日支親愛」と拔き書きした繪行燈がつるされ新國家を祝福するこの方面は道行く人達の間にも清新の氣が漲つてゐる正午ごろ小崗子同樂會、有志連の高脚踊が繰り出すやら市中大行進の行列が東關街廣場に差しかゝつたころにはこれを見物せんと田舍より家族連れで見物に出た滿洲國人が手に\/＼新國旗を打ち振りながらこれを迎へる等時ならぬ大雜沓を呈しすつかりお祭り氣分が橫溢してゐる

長唄『鷄鳴の曉』に大官連大はしやぎ
昨夜長春で建國慰勞宴

新國家では十日午後三時、國務院總理鄭孝胥氏秘書鄭垂氏より關係其の他の發表後、首腦者は內部的會議を行つたが何等發表的議事なく、午後五時頃迄に退散、同六時より特務部招待の建國慰勞宴會の爲め日本料亭[illegible]に出席したが、青疊の上に寛ぎ日本料理會席膳の前に座つた新國家の大官連はすつかり喜んで、二時間位の豫定であつたのが更に續宴するなど、かつて見ない落付き振りであつた

殊に席上美妓連が鷄鳴の曉とか新滿洲節とかいつたものに新國家建設の喜びを取り入れた長唄の華やかな踊りを見せたが、日の丸の國旗と新國家の五色旗とを交叉した目もまばゆい裝飾として、つくり調和がされ、出席の大官連もすつかり若返つてのはしやぎ振りであつた、同日新任された外交總長の謝介石氏は早速來賓を代表して招宴に對する鄭重なる謝辭を述べ、殊に美妓連の踊は最も美しく最も喜ばれたが「十一日夜は此處で宴會をしたいと思ひますから是非々々此の踊りを見せて頂きたいものである」などスマートな外交振りを發揮して十時頃撤宴したが建國のなごやかな親睦宴ではあつた、因に出席者は

鄭孝胥、臧式毅、熙洽、馬占山、張燕卿、丁鑑修、謝介石等各閣僚、張景惠、張海鵬、執政最高秘書及び鄭垂氏其他

であつた、尚十一日は午後六時より同じく[illegible]で閣僚其の他が特務部關係者を招待清宴を催す筈である【長春電話】

建國祝賀

(上) 大廣場行進中の旗行列、(下左) 滿鐵グラウンドに集會した參加團體 (下右) 祝賀式場における祝辭朗讀

旅順の建國祝賀
白玉山上で奉告祭
午後は大旗行列

千載に殘る歷史的滿洲國建國祭は十一日全滿的に擧行され要地南滿の一端旅順にてもこの日は旅順市長主催となり午前十時三十分から白玉山納骨祠に於て永山市長、隣山助役、東畑市會議長の日本側及び旅順公議會長孫修海、副會長孫兆安、市會議員宋居裕其他滿洲側の主なる者參集の上奉告祝賀祭を執行したる後一同は自動車にて山岡關東長官、大谷要塞司令官、關東軍留守司令部を訪問建國の賀詞を述べ尚市長の名を以て

本庄關東軍司令官宛
滿洲國建國祝賀に當り市民を代表し謹んで深甚の敬意を表す
大滿洲國政府宛
市民を代表し謹んで建國を祝す

との祝賀電を發した、此日前日來の黃天晴れざるも裝飾された全市の日本國旗、滿洲新國旗は互に色鮮かに萬目生々、祝福の氣を呈してゐた、午後一時三十分から市民學生の一大旗行列が行はれたが午後六時からは昭和園に於て大祝賀宴の催あり上下を擧げての大祝祭を現出する

奉天の盛況
陸と[illegible]て大祝賀

全滿在留民あげての希望に燃ゆる滿洲國建國祝賀大會は十一日を期し全滿各地に開かれたが奉天では朝來ドンヨリと曇り小雪さへ降りしきる內に建國を祝福する各機關代表、學校生徒兒童その他市民一同は午前十時奉天神社に參拜後、盛大な奉告祭が神官によつて嚴かに行はれつゞいて社務所において遙拜式が行はれた、神官の玉串奉典後上田委員長は一同を代表して玉串を捧げ一同遙拜、つゞいて安藤南滿中學堂長の音頭で君ケ代を合唱、木下在鄉軍人分會長の發聲で天皇皇后兩陛下の萬歲を三唱し午前十時四十分式を終へた

それより一同は五色旗をそれぞれ手にして忠魂塔に參拜、定刻滿洲國萬歲を三唱し、次で軍司令部前で同樣萬歲三唱したが市中は市民の祝福する歡喜でわき返へり平和が滿ちてゐた、一同はさらに城內省政府に赴いて賀表を呈した後附屬地に歸へり記念碑にて解散した、この日一時頃霽れた雪も十一時ごろやみ市中は大國旗五色旗[illegible]門等に飾り立てられ煙花は間斷く打揚げられて景氣を添へた、また、滿洲側では午前十一時より學生及び市民代表により祝賀行列行なはれまた演劇、映畫、講演等の各種の遊藝が城內各所において行はれ祝賀の氣分は奉天全市に漲つた【奉天電話】

撫順の盛會

撫順の建國祝賀會は十一日午後一時滿洲國側で千金寨青年會館、附屬地では神社前に在住官民數千それ\/＼集合、夏縣長、久保祝賀委員長指揮の下に盛んなる祝賀演說建國奉告式を擧げそれより附屬地の者は千金寨へ、縣民は附屬地へ手に\/＼日滿國旗をかざして互に旗行列し縣公署、炭坑事務所前で萬歲を唱へた、斯て同五時より公會堂の日滿合同祝宴會には五百餘人の兩國有志集ひそれに日滿の美妓の餘興、斡旋に酒宴を張り、また市內各戶は國旗、ポスターを揭げ電車、自動車は何れも美しく花で飾りたて、建國の喜びをなした【撫順電話】

吉林市中は火の海

【吉林特電十一日發】滿洲國成立祝賀の狀況は既報の通りであるが十日午後五時よりは滿洲國側は長官公署に於て大祝賀宴を催したるに、來賓として、日本側よりも多數の參列者ありて合計約百餘名に達し、宴酣にして、石井總領事の發聲にて滿洲國の萬歲を三唱し、又滿洲國側は洪總務會長の發聲で日本帝國萬歲を三唱し、和氣藹々盛會裡に同七時三十分散會した、又同時刻より提燈行列は長官公署前より出發したが此れは全く吉林において前例のない光景で、先頭には長官公署附隊の陸軍軍樂隊を始め、軍隊側はラッパに太鼓を鳴らし一般地方民は音樂隊を先に立て六列の縱隊約五百米にて、宛ら市中は火の海と化せしが如くであつた、その他一般市中側でも思ひ\/＼の假裝行列を出して、彌が上にも活氣を呈し午後十時三十分頃一先づ行列を終つたが、人出は相變らず多く、同十二時過ぎまでは一大雜沓を極めた

上海の戰傷者門司に到着

【門司特電十日發】戰傷者二百一名を乘せたハルビン丸は十日午後二時過ぎ門司入港、例の爆彈三勇士を出した工兵〇〇隊を始め四十一名(內准士官以上三名)は折からの雨風の中を擔架で運ばれる者毛布をかぶつて人に負はれて上陸する者あり患者輸送自動車で小倉衛戍病院へ向つた、殘り百六十名(內准士官以上八名)は同船で五時發[illegible]品に向つたが見送り人は非常に多かつた

故恩田氏葬儀

恩田市會副議長死去の報に接し上京中急遽大阪に赴いた小川市長、熊谷市議、小澤太兵衛氏よりの入電に依れば恩田氏葬儀は十一日午後二時より大阪に於て告別式を行ひ、遺骨[illegible]連の上大連に於て本葬を行ふことになつたと

天氣豫報　十二日

西の風曇驟雨模樣

各地溫度

	十一日午前十一時	十日最低
大連	二・五	零下〇・五
旅順	三・〇	同〇・九
營口	二・八	同一・五
奉天	一・六	同三・六
長春	一・九	同九・四

長男登儀病氣療養中の處藥石効無く本日午前四時三十分死去仕候間此段御通知申上候
追而葬儀は明十二日午後四時[illegible]列を廢し大[illegible]町常安寺に於て執行仕候

昭和七年三月十一日

父　友木饒
親戚　菊地喜藤太
中川富太郎
友人　樋口光雄
吉野正巳
代[illegible]　西內精四郎

武門血笑記（81）

下村悦夫作　布施長春挿畫

道中双六（一）

土山の宿から一里餘り、近江と伊勢の國境にある鈴鹿山の麓に近い街道筋の茶店で休んでゐる二人の男女があつた。

名殘の春も過ぎ去つて、四邊は衣更へをしたやうな新綠の若葉時、路傍の小山には、躑躅の花が今を盛りと咲き亂れてゐる。

昨日今日から急に夏らしくなつて、鋳つく照りつけた午下りの陽が茶店の店先を照してゐる。その眩い光を避つてか、二人の男女は、街道に背を向けるやうにして、床几に腰を下してゐた。

男は木綿縞の着物に小倉の帶、寸端物の道中差しに、脚絆甲掛と云ふ職人風の旅姿、脱いだばかりの笠を傍に置いて、すぱりすぱりと煙草を吹かしてゐる。

女は縞縮緬の道中合羽に萌黄色の手甲脚絆、紅色の結つけ草履の紐も艶かしく、頭は姉さん被りにした手拭で包んでゐるが、その下からちらちらと見える襟足が雪のやうに白い。

「へえ、お待ちどうさま」

と、お盆の上に、餅の皿と、番茶を載せて持つて來た茶店の亭主が

「旦那様方は、御參宮でございますか」

「まあ、そんなもので」

と、男。

「へへえ、時節はよし、結構なお道中でございますな……」

亭主は御世辭笑ひをしながら引込んで行く。

男は餅を撮み上げて、

「照枝どの、勞れはしませぬか」

と、四邊に聞えないやうな小聲で、女に私語いた。

「いゝえ」

女は輕く首を振つた。

この二人の男女は二日前に草津の宿を發足した作藏と、照枝であつた。

と、作藏はまた小聲で、

「貴女の足には、私もほとほと恐れ入つた」

「ほ、ほ、ほ……子供の時から山道で慣れて居りますので……」

「駕籠よりも、お歩ひの方がいゝとは、これはどうも私の方が負けらしいですな」

「また、お笑談を、それよりも、貴郎の頬當には、ほとほと感心致しました」

「はつはつ……これは恐縮」

二人は顔を見合せて、小聲で笑つた。

お天氣のいゝせいか、街道を、ぼつりぼつりと旅人が通つて行く。小聲に何か話し合つては、笑つてゐる二人の樣子は、誰が見ても似合の若夫婦、たゞ、女の器量のすば抜けていゝのに比べて、亭主の男振りが下るが、その何處となく愛嬌のある剽輕な顔立が、埋め合はせてゐると云へば、云へない事もない。

「さあ、ぼつぼつ出掛ける事にして、何んなら私だけ駕籠でも見つけませうかな」

と作藏は笑顔、

「どうぞ、御隨意に」

照枝は片頰に靨を見せて、その果物のやうな唇を綻ばせた。

丁度、その途端であつた。街道を驅けるやうな早足で通りかゝつた一人の男——縞の合羽に三度笠、寸の詰つた道中脇差を腰に、手甲脚絆の足拵へも身輕な草鞋穿き、商人にしては、何處となく凄味の走り過ぎたこの男は、京から二人の跡を尾行て來た彌の目明し熊五郎であつた。

熊五郎は、危く行き過ぎやうとして、ふと二人の後姿に眼を止めると、急にその白眼の勝つた凄味のある眼をギロリと光らして、立ち止まつたが、何んと思つたか、そのまゝ面をそむけて、足早に五六間歩いて行つて、作藏達のゐる茶屋とは筋向ひになる、別の茶屋へ、ずいと入つて行つた。

映畫紹介　「若き日の感激」

蒲田發聲映畫【中央映畫館上映】

「若き日の感激」は「マダムと女房」によつて時を得た五所平之助監督のトーキー第二回作品として發表されたものである、全く五所監督は時を得たと云つてよい、純情では後進小津監督に押され、純藝術的映畫に赴くべきか、或は傾向物、小市民性的作品に進んで時流に投ずべきか、その決路に迷つてゐたのだが今やトーキー監督としての位置を確保した「マダムと女房」はキネ旬の投票に於て第一位だ、その第二回作品、我々が注目するに値するは當然だ

監督の點より、この「若き日の感激」を見て第一に氣附くことはトーキーとしてかの「マダムと女房」に比して一層映畫的となつて來たことである、このため却つて不手際な處も所と有るがしかしごまかしでない、すべるくない、映畫的と忠實なるがための不手際は我々は決して嫌らしく感じない、むしろその前途に望を抱くことが出來る、映畫的と云へば……この映畫に於ける五所監督は「巴里の屋根下」に教へられる所が多いようだ、處々にそれに似たものを感じる、殊にラストシーンの音の變化とキャメラの移動の如きは手風琴をハーモニカに變へたものと思はれる

原作は佐藤檔之介で、北村小松は脚色だけだ、從つて我々はこの映畫で小松の好さを味はふことは出來ない、僅かに飯田蝶子の安心に於て小松らしいものを感じる程度である、物語りは許嫁に叛かれた乙女がその優しい姉と兄の友人とに守られて淋しく短き一生を終ると云つた極く簡單なものであるが、小松には不向なやゝ激しい筋である、その中にランニング競走や友人の兄の負傷等が事件を複雑にしてゐる

俳優中では矢張り主演の川崎弘子が一番光つてゐるが餘り弱々し過ぎるのが却つて酷ではあるまいか、しかし川崎はトーキー女優として錄音法さへ確かとなれば從分役立つ人だ、その他では助演の瀧口新太郎、北村千惠松の二人が年若かの割にしつかりした處を見せてゐる、吉川光子はトーキーにはもつてこいだし、飯田蝶子の如きもトーキーでは立派に悲劇女優としての前途を持つてゐる

「若き日の感激」は全然「マダムと女房」とはおもむきを異にしてゐる、從つて題名の割りに又俳優が若手揃の割に明朗さに乏しい、市川綠波の如きもこの缺點をのがれるために採り入れられたものではあらうが所謂蒲田獨特の三枚目の活躍のさびしい映畫だしかしその反面一部ファンの涙をしぼるには充分であらう

◇◇若き日の感激◇◇　五所平之助監督蒲田第三回トーキー映畫、北村小松脚色、水谷至宏撮影、土橋晴夫錄音、主演は川崎弘子、瀧口新太郎、北村千惠松、藤野秀夫、齋藤達雄、飯田蝶子、伊達里子、吉川滿子助演、戀人に叛かれてその戀人をあきらめ得ず淋しく死に行く「純子」の物語り【十一日より中央映畫館で上映】

大劇の浪曲大會　初日讀み物

十二日より大連劇場で初日を開ける京山圓造、宮川女左近一行の浪曲大會初日讀物左の如し

藝者の誠（宮川初子）竹田宮殿下（英紅月）吉田御殿（吉田天鳳）黛井文龍（京山菁楽）勸進帳（桃中軒松）長崎土産（天津乙女）軍神乃木（京山圓造）大西鄕（宮川女左近）

噂話

昨夜から「スキピイ」と「大飛行船」を公開してトーキー設備披露映畫會を開催してゐる協和會館、流石長い間委員さん達が研究を重ねてゐただけあつてその發聲は確に素晴らしい▲ここに解説ぬきにして思ふ存分發聲に力を入れてゐるので一層その質が擧げられてゐるが高級ファンにとつて大きな喜びだ▲しかも映畫常設館の經營にさしさわりが無いようにとまでの考慮が拂はれてゐることとて常設館側からも喜ばれてゐるが▲とにかく大連映畫界の誇りが一つ増えたわけだ

本社特選　新棋戰【其七】

平手　先四段　△建部和歌夫　四段　▲市川一郎

【圖は六六歩迄の局面】▼市川氏「持駒」銀歩三ツ　△建部氏「持駒」■

△五五馬　▲四四銀
△六六馬　▲六八角成
△同金ヨル　▲五二金
△四五桂　▲二二玉
△四四馬　▲同歩
△三三銀　▲同金
△同桂　▲同玉
△三一■

【土居八段講評】△建部君は危險を避くる意味の下に五五馬以下桂歩を取つたのは安全第一の手段である▲市川君は何れ見込のない局面なるも本譜の五二金は良くない、六一歩と打つて龍の横筋をとめておくが好い。

本日の相場

品名	單位	相場
日本一のおいしい國旗印東京澤庵	百匁	七錢
	一〆目	六十五錢
おいしい壽し米	一丁	六圓九十錢
特等白米	一叺	五圓九十錢
	同	五圓五十錢
白鶴	一升	一圓三十錢
三ツ輪正宗（湖東號特賣）	一升	七十五錢
サッポロビール	一本	二十四錢
	一箱	十一圓三十錢
キリンビール	一本	二十四錢
リボンシトロン	同	十六錢
シトロン	■	十一錢
サイダー	同	十錢
景品付（コーヒ茶碗）（一組付）		
三ツ矢ソース	大瓶	二十五錢
日清サラダ油	一升	五十錢
赤玉パン粉	一本	十錢
淺草のり	一帖	十五錢
大納言（小豆）	一升	二十五錢
鶉豆	同	十八錢

春……人の心はゆるみ 泥棒のシーズン

どうしたら盗難が防げるか

安心てきぬ錠前と掛金

ポカ〳〵暖くなると人の眼は眠くなり心は緩んで來ます、毎年三月、四月は一年中で一番盗難の多い月です、ことにピクニックなどが始まると新聞紙上にも泥棒記事が目立つて多くなります、どんな家が一番盗まれ易いか、どうしたら盗難が防げるか――三浦西崗子警察署長の談

◇警察側から見ると盗まれる家は大抵定まつてゐて同じ家が何度もやられますが、これは全くその家の人々の不注意からです、大抵の人は鍵をかければもう大丈夫と思つてゐますがこれは大變な間違ひで、たとへば官舍などは合鍵が一組だから一つの鍵でどの家にも容易に入れます、最近組幇盜に入つた泥棒などがそれで音もさせずに持てるだけの品物を持ち出して行きました、それゆゑ官舍や社宅などに住む人は自分で別に錠前をとりつけておくことです

◇しかしそれでも絶對安全とはいへませんから寝るときは錠前に鍵を差し込んだまゝにしておくことが最も簡單で間違ひありません

◇小窓の掛金も安心できぬもので、一寸心得た泥棒ならば薄い板金一枚で容易にねぢ開けてしまひます

◇滿洲でことに多いのは窓ガラスを外して入る賊ですが、これは窓枠にガラスを付けるポテが乾燥のため落てゐるために容易にガラスを外すことができるからです、これなどは絶えず氣をつけてもし落ちてゐたら塗換へるやうに注意せねばなりません

◇最後に外出または旅行などで留守にする場合には最寄りの警察か又は近所の人に留守を頼んで行くことで警察はこの屆け出を受けたら十分警戒をすることにしてゐます

見事な出來榮えの 出品が千點

滿鐵家事講習所の 第一回展覧會

例年春の彼岸の前後に開かれてゐた滿鐵播磨町家庭研究所の手藝品展覽會は豐富な出品物とその素晴らしい出來榮えで大連は勿論、殆ど全滿の多少でも手藝に趣味のある人たちで知らないものはないほど人氣を集めてゐたもので、この二三年來支那人や西洋人の來覽者も著るしく

殖えて 遠くは撫順、奉天あたりからわざ〳〵見に來る婦人方もあるといふ有樣でした、そ

の家庭研究所が家事講習所と改稱されてから今度は最初の展覽會なのですが、今年は播磨町だけでなく沙河口、日の出町の兩家事講習所も合同して來る十九日から廿一日まで三日間播磨町講習所に於て大々的に手藝品展覽會を催うさと目下各講習生は出品物の製作に懸命になつてゐます、陳列品の主なものは刺繍科の

製作品 ではフランス刺繍、日本刺繍、アップリケー、ドロンウオーク、カットウオーク其他も新らしい手藝であるヘイル繍其應用のクッション、壁掛、額、ピアノ掛、帶側、座蒲團、手提等目のさめるやうな素晴らしいものが約三百點、洋服科では男兒服、女兒服、婦人服等新しい意匠をこらされたものや、廢物をうまく利用した通常服、訪問着もあれば昨年秋服裝改善會で制定した小中學生用の標準服もごく安い値段で賣品に出される筈です、此外婦人服子供服、ベビー服、婦人用並に女學生用の運動服を下着から上着まで全部取揃へて洋裝をする人たちの參考としたり

男兒服 女兒服の肝心の所た圖解と部分縫によつて示したものなどいろ〳〵有益な參考品も澤山出品されるさうです、編物科ではドレス春物のスウエーター、ハーフコートなどこれも春らしい新鮮なデザインと色合の素晴らしいのが二三百點もあります、和服科では生活改善の趣旨から目を引くやうな晴着類は避けて或は古いセルの單衣を袴にこしらへ直したり、膝が拔けたのをうまくやりくりして體裁よくした廢物利用品や普通だれもなほざりにし易い和服の縫方のコツを圖解したものなどの外に、最も手輕で經濟で衞生的な白絹ネルのベビー服の賣品なども出してゐますから全體の點數は

千點を 越えませう、なほ別室では講習生の手にこしらへられた滿洲産の黍を材料としたおいしい黍團子や講習所御自慢の炒雜碎（チャップスイ）附の晝食の賣店もあります丁度土曜、日曜日と三日つゞきますし、このごろのポカ〳〵と暖い陽氣とお彼岸で當日は定めし押すな押すなの入場者を見る事でせう

アサヒノボル

中溝しんいち作（73）河野ひさし画

1
タイチャン ハ コヒノ シッポ ガ ナホルヤウ ボウズ ニ オキヨウ ヲ アゲサセテキルト フシギ ニモ

2
ポコリ ト コヒ ガ トビハネタカラ ミルト リッパ ニ シッポ ガ ツイテ キテ アリガタウ ト イフ

3
コレデ ヤクメ ガ スンダ ト オモツ テ フリムクト イ マ キタ ボウズ ガ ドコニモ ミエ ナイ

4
ツノ カハリ ラマ ベウフキン カラ タクサン ノ シナ ヘイ ガ アラハレ テ チツパウ ヲ ムケテキル

Koh.

谷の鐘

旗野二郎

三里記（15）

「郭公さん。郭公さん。さおにげなさい」

火は、この楡の木の下點に燃えつきました。下から火あぶりされるやうに、熱い風が、蛇のまはりをふきのぼります。

「郭公さん。しつかりなさい」

蛇は、郭公を元氣づけるために郭公の肩を嚙みました。これでやつと郭公は正氣づいて、無中になつて、楡の梢をさびたつたのです

もくもくと立ちのぼる黑い煙の中を郭公がはばたいてゆくのをみて蛇は「あゝやつと安心した、これで、谷のものをみんなたすけてやつた」とひとりごとをいひました

蛇は、楡の木をおりて逃ようとおもひましたが、下は、一面の火です。蛇は、どうすることもできません。熱い焔が下から燃え上るので、蛇は、しらずしらずのうちに、楡の一番高い枝先にすがりつきました。やがて、楡の木がゆらゆらとゆれ動きました。蛇は、友だちにかはつて死ぬのだとおもふとなにかしら、悲しいうちにも、はればれしたものを感じました。

ものすごい煙の中に月がちらつと見えましたが、それきり、月は見えなくなつてしまひました。

山火事は、ます〳〵あれくるつて、ひろがりましたが、だん〳〵驟雨がふつてきたので、だん〳〵鎭りました。それに風がぴつたりやんでしまつて、夜明け近くには、焔は消えてしまつて白い煙が、霧のやうにたゞよつてゐるばかりでした。

おくれ、慰問袋！

上海を守る我勇士に

滿日婦人團で取次ぐ

上海事變が發生して以來多數のわが忠烈な兵士等は不馴れな地にあつて數々の辛酸を嘗めて來ましたが今のところ一時停戰狀態を保つてはゐますが暴戻な支那兵は何時反抗の火蓋を切るかも知れず我が軍は寸時も安心してゐられない狀態なのです、ところが滿洲事變の際には處置に困るほどの夥だしい慰問袋が出動軍隊や警察官等に送られたのに、上海方面には未だごく僅かの慰問袋しか屆けられてゐないと聞きます、それで今度大連市役所と時局後援會が共同して上海事變派遣軍隊へ送る慰問袋を集めることになりましたから滿日婦人團でも團員一同の眞心をこめた慰問袋を集めて主催側の手を經て派遣軍隊へ送りいさゝかでもその勞をねぎらひたいと思ひます。慰問袋の内容は先日上海派遣軍司令部へ問合せた結果は煙草、タオル、仁丹、キャラメル、チリ紙などを一般に希望してゐるさうで、ハミガキ、石鹸、ハブラシなどを使ふやうな閑暇は今のところ殆ど見出せないさうです、團員の方はその前日までに慰問袋作製の上本社内滿日婦人團本部までお屆け下さるやう

毛皮を仕舞ふ

「手入れが出來ましたか」

◇…忘れたらば臺なし

◇…◇永い冬も終り着なれた毛皮の外套や婦人の狐の毛皮の襟卷きなどを仕舞ひ込むころとなりました、これらの毛皮類はすべて高價なものですが手入が惡いと一年で毛が拔けて使へなくなります、ことに滿洲のやうに埃の多い土地では毛の根元の脂肪に埃がたまりその惡い繊維は毀損されます、そ

蟲は蟲が好き喰ひますからそれを知らずに仕舞ひ込みますと蟲は毛の根元を蝕んで行きます、かゝる損害を免れるにはドライクリーニングをすることが第一ですが揮發油に三十分浸してクリーニングする間に毛の根元に附着してゐるすべての惡い繊維は

の上紙袋をつくつて袋の中に入れ固形フォルマリンを十個程入れて空氣の入らぬ所に入れておけば理想的です

◇…◇外套も同樣でクリーニングの後に大きな袋をつくつてその中に仕舞ひ固形フォルマリンを三十個程各所に入れて吊しておきます、こうすると毛が拔ける事なく幾年も立派な毛皮を着る事が出來ます（寶ドライクリーニング店主談）

煤煙に よごれた 足袋の 洗濯方法

滿洲の婦人たちの苦手は煤煙です雪の樣に眞白い足袋をはいて外出しましても數時間の後には早や眞黑に汚れて了ひます、汚れても洗濯がすぐに出來、眞白になれば譯はないのですが一週間もするど少々黄色味を帶びて白足袋の値打ちがなくなります、そうかと云つて洗濯屋さんへ毎日出す譯にも行きませんので家庭で洗濯して眞白にする方法を御紹介しませう

………◇………

先づ汚れた足袋を荒洗ひし大盥の汚れを落して了ひ石鹸をつけたまゝ何か器に入れて煮沸いたしますと眞白になります煮沸してもやはり汚れてゐる樣な場合は、汚れてゐる點だけつまみ洗ひしますと綺麗になります、洗濯がすみましたら薄く糊をつけ乾き切つてしまはぬ中にアイロンをかけますと立派な足袋がはけます足袋に糊をつけますと汚れましても洗濯の時汚れが早く落ち、時間と手間が大分省けます、石鹸水で煮沸した後の熱い湯は捨ずに單衣の着物にかけますと汚れが容易く落ちます

今日のお料理

大根のそぼろかけ

（材料）大根二百匁、豚肉五十匁、玉葱一個、片栗粉大匙一杯、八方汁二合

（調理法）大根を八方汁（鰹節を…）…豚肉は細かく切つておきます大根の皮を剝き大角に切り茹で玉子…

滿日各地版

愈よ高潮に達した 滿洲國建設祝賀會

空陸相呼應して 大祝賀行進
安東における盛況

【安東】東北三千萬民衆の熱望した樂天地滿洲國は既に建設され曠漠たる大地に黎明の鐘は鳴る、今や吹く春風の裡颯爽として出現した大滿洲國は新しき旭光に輝き新旗赤黄白黒の滿地黄旗は一歩を世界史上に印し滿洲國を表徴する此の日十一日無心の山野さへ若き滿洲國を謳歌するかの樣に見え十數年間の張家暴政より

解放 された民衆は放たれたる小鳥の如く喜びに湧き返る、朗らかだ！安東驛前の大アーチ公會堂入口のイルミネーション市內要所々々には日滿大國旗の交叉滿洲街六道の辻に十字に張渡された紅布には新國家祝福の文字鮮かに人目を惹き各商店の入口は五色旗で飾られ新興の氣は眼に耳に如何にも生々と感じられ道行く車馬にも立てられた小旗は風に揺らぎ此處縣公署前の電飾された松葉の歡迎門は大滿洲一隅の安東總元締を表徴するかの如く巍然と聳え今日の集會所縣議會前大廣場には若き元首溥儀氏[illegible]卑屈より更生への

一歩 を踏みだした學生各團體一般市民の數無慮六萬を突破し壯麗鮮かな數十本の長旗は[illegible]はためき、さしもの大廣場も小國旗の波で埋め盡され斯くて定刻に入るや砲聲五發の花火は碧空に日滿國旗の和を織きつゝ落下する縣長王介公氏の發聲で萬歲三唱續く七萬の喊聲は靜寂な空氣を震はす軈て美々しく飾られた車馬隊を先驅に樂隊續く商工、農村、教育々に趣向を凝らした高蹺踊、（學生）宗教各團體無慮七萬、獅子舞、踊獅子等各種餘興を前後に配し隊伍整然四列の行列は蜿蜒十數丁の長蛇を爲し數千枚の宣傳ビラを撒布しつゝ進めば銀翼に旭光を受け爆音勇ましく飛び來れる飛行機は輕やかに舞ひ

祝福 してビラを撒布し一段に氣勢を添へ空と陸との祝賀の交驩行列は祝賀行進歌を高唱しつゝ財神廟街より六道の辻へ興隆街を市場通へ直進驛前廣場にて日本側行列三萬と合し滿洲語、日本語和合十萬の聲は萬雷の一時に落つるが如くさしもの廣場も立錐の餘地なく斯くて安東ホテルに向つて日滿各團體左右に整列を終れば日滿兩代表（日本側多田晃）（滿洲側王介公）兩氏は童顏に微笑を浮べつゝホテルベランダに現れ堅く親く握手を交せば十萬の群衆水を打つたる如くしばし沈默裡に感激的シーンは

展開 され日本代表は滿洲國萬歲を滿洲國代表は日本帝國萬歲を交互に高唱せば熱狂せる群衆之に唱和し安東古今未曾有の意義深き建國祝賀交驩は朗かになごやかな春風裡に幕を閉ぢた

湧き返へる鞍山
全市を練廻る旗行列

【鞍山】鞍山、遼陽縣南部農商聯合會では滿洲國建國祝賀會を十日正午より興盛廟境內において開催した來賓として滿鐵各課所長實業界、輸入組合理事、警察署、郵便局長各區長地方委員財團法人、新聞關係者等を招待し會長の開會の辭、新國旗の掲揚小野寺地方事務所長の祝辭吉村憲兵分遣隊長の發聲にて新國家萬歲を三唱し祝宴に移つた、これより先第七區自衛團二百名は廟前に整列し久留島分會長、松木警察署長、吉村分遣隊長等の查閱を受け公學校生徒及び一般民衆は樂隊を先頭に新五色旗を立て高蹺踊りをなしながら蜿蜒長蛇の行列は鞍山全市を練り廻り賑ふる盛況を呈し祝賀氣分が湧きかへつてゐる【鞍山電話】

錦州の祝賀
嚴肅に行はれた

歷史的一大祝典

【錦州】三月十一日に建國大祝賀會は日支兩國民により舉行された、九日は千古不滅の滿洲國が建設されたので三千萬民衆は歷史的一大祝典を最も嚴肅に行ふべく滿洲側谷、歷川兩委員長日本側是永領事代理等によりて十一日警備司令部跡に於て日滿兩國民により舉行された式後は滿洲側の餘興あり同夜は日本居留民全部を招待の上祝宴を催したが經費場所の關係上代表者のみ招待した同日は警備司令部捉少佐及松浦憲兵分隊長が警戒の任に當つた、また新國家建設されたることにつき邦人居留民一同は滿洲側に祝意を表し且錦州に入城して拔群の戰功を收めたる〇師團も何れ衛戍地へ引揚らるものとしこれに在留邦人の生存上最も感謝と祝意を表す可く祝宴は十二日憲兵隊司令部にて盛大に舉行さる筈

營口の祝賀
稀に見る賑ひ

【營口】滿蒙新國家成立につき滿洲側では十、十一、十二の三日間祝賀をなすこととなり十日は午前十一時から小紅樓劇場に於て嚴肅なる式典を舉げ日支官民多數の來會者あり王府國民の開會の辭、[illegible]長の宣言朗讀日支兩方面の祝辭多數あり後滿洲國萬歲の三唱ありて盛會裡に散會し午後二時よりは瀛海樓に於て盛大なる招待宴あり同三時半散會した、當日は滿洲側各戶に新五色旗を掲げ各中等學校小學校生徒全部は五色の小旗を打振りつゝ新市街をねり歩いて大旗行列をなし市中は多數の人出にて時ならぬ賑はひを呈して春光駘蕩として何れも祝賀氣分にひたり新市街は夜に入りて全市に擬行燈を點し電燈及水電會社はイルミネーションを點し更に一段の景氣を添へた

熊岳城の歡喜

【熊岳城】當地における滿洲新國家建國式は九日午前[illegible]時より熊岳城公學校講堂に於て舉行せられたが正面には新國家の大國旗を掲げ其他多數の小國旗で飾らる、生徒着席の上日支官民多數の來賓入場池田校長の開式の辭、國旗に對する最敬禮建國の經過につき一場の講話あり渡邊協長、古川地委議長支那側來賓代表董學厚氏の祝辭あり希望と歡喜に滿ちた生徒の口より新國家建國の唱歌は高らかに唱和され盛會裡に式を閉ぢた

開原の祝賀會

【開原】開原縣公署にては三月十二日午後二時城內教育局圖書館に於て盛大なる慶祝宴を催す由にて在附屬地官民有志に案內狀を發した

吉林の祝賀

【吉林】吉林における執政就任式の狀況は既報の通りであるが引續き十日午後一時より滿洲側は數千名よりなる旗行列に移り蜿蜒長蛇をなして萬歲の歡喜にもえつゝ行進午後四時終了した日側は午後一時より陸軍記念日の催し物として駐屯軍ならびに在鄉軍人は民會裏運動場において模擬戰を舉行し終つて午後二時より居留民約五百名朝鮮人民會側約一千名とゝもに旗行列を行ひ吉林未曾有の大盛況であつた、沿道においては日本軍隊を先頭にラッパを吹奏しいやが上に活氣をそへ長官公署前で全員集合萬歲を三唱して解散、午後三時

全滿各都市の陸軍記念日
滿蒙新時代を表象して
各地未曾有の盛觀

熊岳城

當地における陸軍記念日は朝來冷雨混じりの粉雪が降つてゐたが九時頃より小止みとなる、小學校に於ては午前八時半より守備隊田中中尉の軍事講話あり十時よりは當時の壯絕さその儘の演習が舉行せられた、大略の經過は

蓋平方面より南下する敵に對し熊岳城[illegible]地を死守すべき任務を有する在鄉軍人團二小隊約五十名と警察隊は附屬地北端[illegible]附近に陣地をしき一方火石山方面に現はれた[illegible]（守備隊一部と小學生）は熊岳城北端附近に陣地を占領、之を撃滅すべき任務を有する守備隊軍は附屬地々方約五六百米の地點に於て攻擊準備をなしたが十時演習開始の命下るや騎馬斥候は飛び乘馬兵は猛襲し一方[illegible]內の小銃射擊、機關銃の猛射は轟き鳴りを靜めず、此の間統監部石原少尉、高松少尉、北田少尉、古川特務曹長、本宮特務曹長（在鄉軍人）の命する統監部付き傳令は飛び寸分の隙なき程の緊張振りを示すかくて激戰時餘遂に突擊に至り休戰ラッパ鳴り響く行演習後其の附近に於て火石山方面に對し小銃射擊、輕機關銃、重機關銃、擲彈筒射擊、迫擊砲等の實彈射擊を演じ一般觀覽者に示し豫定より少しおくれ十二時二十分終了直に祝賀會場たる市民クラブに入る、一同席定まるや田中中尉の一場の祝辭あり滿堂和氣藹々たる中に祝杯をくみ交し西尾老の日滿戰役における回想談、佐藤氏の浪曲等を混じへ歡談時餘最後に渡邊試驗場長の音頭にて帝國の萬歲を三唱し一同散會した

營口

當地の陸軍記念祝賀會は十日午後四時半より營口公會堂にて行はれたが大石橋守備隊より秋重大尉來營し匪賊討伐に關する約一時間半に亘る有益なる實戰談あり宴に入り門間所長の祝詞荒川領事の天皇陛下萬歲古川議長の陸軍萬歲三唱あり盛況裡に在鄉軍人會歌を合唱し滿場立錐の餘地なきまでの盛會裡に同六時半散會した

開原

三月十日の陸軍記念日は午前九時三十分中央公園忠魂碑前に於て記念參拜を行ひ午前十時開原神社の西北方曠野に於て守備隊憲兵隊警[illegible]の參加せる壯烈なる模擬戰に廿七ケ年前の今日を偲ばしめ正午公會堂にて日滿官民合同の記念宴を催した同日は九日夜の雪は名殘なく晴れて旭日白雪の野を照し當時を偲ぶには好個の日和であつた

錦州

三月十日の第二十七回陸軍記念日には諸儀式を廢し正午より四師團司令部跡にて祝宴開催後引き續きキリスト青年會館に於て師團が京城より招聘せる柳燕路一行二〇名の落語萬歲等の餘興あり午後一時より約二時間一般市民の爲に特に公開せられた日支人共に潮の如く集ひ實に立錐の地も餘さゞるの盛觀であつた

雪解を待ちて 開墾と移住に着手
東亞勸業先づ乘出す

【奉天】滿蒙無限の曠野開拓に就いては拓務當局の積極的對策となり臨時議會に提出される豫算案は移民の移植となつて滿蒙大農業の將來を豫想されつゝあるが民間各方面に於いても移民問題は逸早く輿論を喚起し既存移植民會社は勿論新に會社の設立も企圖されてゐる買收濟未開墾地十四萬町歩を有する勸業公司では過去の經驗と多額の投資を之等外部の企圖と關係なく積極的に活用すべく先般來協議中であつたが大孤山二千町歩を開墾水田となすと共に安東附近に存する未開墾地開拓のため花井專務は目下同地へ出張調査中である鮮人移民を主體とする同會社では先般來奉した新代議士朴春琴氏の意見を徵した上朝鮮總督府當局とも協議の結果引揚げ鮮人農の大移民計畫を立案した、尚內地農民の移入に就いては慎重考究の上先づ經驗農五、六百名の移入を行ひ成績に徵し追加移入を計ることゝなり今年中は十四萬町歩の未開拓につき滿蒙經濟調査會と連絡しつゝ徹底的調査を行ひ明春解氷期を期して農民の耕地入を開始することゝなつた

戰後に殘る 輝しい武勳
陣中美談の數々（二）
大石橋支局發

驚くべき剛勇

昭和六年十一月二十四日遼西耿庄子附近の戰鬪に早くも太子河を渡りて對岸に退却した敵は後岸に一艘の船をも殘さなかつた、此の日此の敵を追擊した第二中隊は此處迄來てはたと當惑して了つた、敵はこれを奇貨に盛に對岸に頑張つて射擊をする氣味の惡い音を立てゝ彈丸は飛んで來るから味方の方だけではどうしても適はない、何んとかして對岸に渡つて早くやつつけなければならぬとあせれどもはやれども扨てどうすることも出來ぬ、丁度其の時稍上流に一艘の小船が取り殘されて居るのを發見した一同は小躍りして喜んだ、やがて其の船を引張つて來た事は勿論だが之れを對岸迄漕ぎつけて向ふの敵を擊ち破る事が一仕事だ夫れは那須の與市が降り來る矢彈を目して見事扇を射落した程の難事は無いかも知れぬが危險な事はどうして夫れどころの比ではない敵彈の擲へた銃先での難儀である此の決死の難儀を進んでやつて退けたのが獨立守備第三大隊第二中隊の高木岡三伍長、遠藤久男上等兵、佐々木省三上等兵、岡本康上等兵、岡久信一等兵、田中清一等兵、安田昌利一等兵の七名である此の危險極まる河の眞只中に木葉に似た一艘の小船を操りながら敵の銃先目懸けて漕ぎ行く有樣は今樣那須の與市であつた、平家の扇を狙ふ優しさならぬ[illegible]敵の馬賊共が銃聲どころか唖然として鐵砲の存在をも忘れてゐたのであつた

二兵士の沈勇

昭和六年十一月九日の朝まだき突如古城子の部落內に起つた戰鬪は眞に激烈を極めたものであつた、如何に勇敢無比の我が兵でも狹い部落內の而も堅固な團壁內に據る敵に對する、殊ら肉彈をぶつ附ける[illegible]が團壁を粉碎する事は到底出來ないのだ、そこで如何一決家屋諸共燒き拂ふに如かずとそこらの高粱や石油を集めて來たのであるが扨て如何にして火を點するかゞ問題である其時自ら點火の役を引受けて出た二人の者があつた見れば進藤文七騎兵軍曹と細川定一上等兵の二名である、二人は如何にするかと見れば石油をぶつかけた高粱桿をしこたま抱き込みながら雨と散る彈の下をするすると團壁內に這入り込んで突嗟の間に火を點けた火は見る見る家屋に燃え移つて阿鼻叫喚の中に敵は文字通り算を亂して殲滅して了つた、此の危險極まりなき場所に於て機宜に適した機敏なる處置は軍隊平素教育を遺憾なく發揮し得たものであつて此の兩名の行動は軍人の模範とすべきである

建國祝賀の艤裝艦

なごやかな春風に靡いて新國家の五色の旗は遂に撤揚された附屬地內外の氣分を一齊に充滿して各戶は祝賀裝飾に目まぐるしい先づ第一に安東驛の艤裝艦、ホーム全長二百十六米突であると云ふから軍艦陸奥、長門より十五米突長い譯である二本の檣頭兩面、中央には數百燈のイルミネーション艦前にはサーチライト、命名して安東艦、艦長森藤驛長全く安東空前の趣だ、滿電は支店前に大々的のアーチを設けこれにイルミネーションを點しショーウインド內の裝飾は日滿親善を表徴し商全を期してなり瓦斯は宴會場たる公會堂前に大々的の瓦斯かゞり火を提供して氣勢を添へてなりその他市民によつて設備された大アーチのイルミネーションは附屬地境界線內外を白晝化下に一絡し完備された裝飾の中に若き滿洲國を謳歌する日滿人約六、七萬の群衆の歡聲は夜を徹して★ール安東の上空に響く【下は吉林の祝賀】

祝滿蒙新國家獨立

登錄商標

月星印鉛筆

鉛筆の御撰擇には評判のよい月星のマーク在る此優良鉛筆を御愛用になれば屹度御滿足が得らるゝでせう

料理は醬油。醬油はヤマサ。

感冒解熱特効藥

實効散

風邪が原因で怖しい病を招く

始めは微熱で咳が出る位でも油斷をして用心を怠ると取返しがつかなくなる例はあまりに多いのです
風邪だと思召したらどうぞ迷はず實効散でスグに治して下さいませ

定價
二十錢、三十錢
五十錢、一圓
三圓、五圓

全國到る處の藥店にあり

實効散本舖　東京神田明神下　師岡天然堂　振替東京一三七二番

製造元　櫻井商店
東京市日本橋區馬喰町二
電話浪花(代表)五〇〇〇番(五)

保險案內申込次第贈呈

碧空を飛べ保險の翼で

人生の安定は生命保險から……すがすがしい清新さで御活動下さい人として將來の幸福安全を願はない人はありません若いうちに御加入下さい健康であれば誰でも這入れます

當社が推奬する特種養老保險
1. 短期の拂込である事
2. 保險料は低廉である事
3. 利益配當附である事

常磐生命　本社　東京　日比谷

武門血笑記 (81)

下村悦夫作　布施長春挿畫

道中双六（一）

土山の宿から一里餘り、近江と伊勢の國境にある鈴鹿山の麓に近い街道筋の茶店で休んでゐる二人の男女があつた。

名殘の春も過ぎ去つて、四邊は衣更へをしたやうな新緑の若葉時、路傍の小山には、躑躅の花が今を盛りと咲き亂れてゐる。

昨日今日から急に夏らしくなつて、錆つと照りつけた午下りの陽が茶店の店先を照らしてゐる。その眩い光を厭つてか、二人の男女は街道に背を向けるやうにして、床几に腰を下してゐた。

男は木綿縞の着物に小倉の帶、寸端物の道中差しに、脚絆甲掛と云ふ商人風の旅姿、脱いだばかりの笠を傍に置いて、すぱり／＼と煙草を吹かしてゐる。

女は縞縮緬の道中合羽に萌黄色の手甲脚絆、紅色の緒つけ草履の緒も艶かしく、髪は姉さん被りにした手拭で包んでゐるが、その下からちらつと見える襟足が雪のやうに白い。

「へえ、お待ちどうさま」

と、お盆の上に、餅の皿と、番茶を載せて持つて來た茶店の亭主は、

「旦那様方は、御參宮でございますか」

「まあ、そんなもので」

と、男。

「へへえ、時節はよし、結構なお道中でございますな……」

亭主は御世辭笑ひをしながら引込んで行く。

男は餅を摘み上げて、

「照枝どの、疲れはしませぬか」

と、四邊に聞えないやうな小聲で、女に私語いた。

「いゝえ」

女は輕く首を振つた。

この二人の男女は二日前に草津の宿を逃出した作樂と、照枝であつた。

「貴女の足には、私もほと／＼恐れ入つた」

「ほ、ほ、ほ……子供の時から山道で慣れて居りますので……」

「貴説よりも、お歩ひの方がいゝとは、これはどうも私の方が敗けらしいですな」

「また、お笑談な、それよりも、貴郎の頓智には、ほと／＼感心致しました」

「はつはつ……これは恐縮」

二人は顔を見合せて、小聲で笑つた。

お天氣のいゝせいか、街道を、ほつり／＼と旅人が通つて行く。

小聲に何か話し合つては、笑つてゐる二人の様子は、誰が見ても似合の若夫婦、たゞ、女の器量のすば拔けていゝのに比べて、亭主の男振りが下るが、その何處となく愛嬌のある剽輕な顔立が、埋め合はせてゐると云へば、云へない事もない。

「さあ、ぽつ／＼出掛ける事にしませうかな」

と作樂は笑顔、

「どうぞ、御随意に」

照枝は片頬に靨を見せて、その驚異のやうな唇を綻ばせた。

丁度、その途端であつた。街道筋を驅けるやうな早足で通りかゝつた一人の男——鼠と合羽に三度笠、寸の詰つた道中脇差を腰に、手甲脚絆の足拵へも身輕な草鞋穿き、旅人にしては、何處となく凄味の走り過ぎたこの男は、京から二人の跡を尾行て來た筈の目明し蛇五郎であつた。

蛇五郎は、危く行き過ぎやうとして、ふと二人の後姿に眼を止めると、急にその白眼の勝つた凄味のある眼をギロリと光らして、立ち止まつたが、何んと思つたか、そのまゝ面をそむけて、足早に五六間歩いて行つて、作樂達のゐる茶屋とは筋向ひになる、別の茶屋へ、すいと入つて行つた。

映畫紹介　「若き日の感激」

蒲田發聲映畫

【中央映畫館上映】

「若き日の感激」は「マダムと女房」によつて時を得た五所平之助監督のトーキー第二回作品として發表されたものである。全く五所監督は時を得たと云つてよい。總督では後進小津監督に押され、藝術的映畫に赴く可きか、或は低向物、小市民性的作品に進んで時流に投ずべきか、その決路に迷つてゐたのだが今やトーキー監督としての位置を確保した「マダムと女房」はキネ旬の投票に於て第一位だ、その第二回作品、我々が注目するに價するは當然だ

監督の點より、この「若き日の感激」を見て第一に氣附くことはトーキーとしてかの「マダムと女房」に比して一層映畫的となつて來たことである。このため却つて不手際な處も所々有るがしかしごまかしでない、すための不手際は我々は決して嫌らしく感じない。むしろその前途に望を抱くことが出來る、映畫的と云へば……この映畫に於ける五所監督は「巴里の屋根下」に教へられる所が多いようだ、處々にそれに似たものを感じる、殊にラストシーンの音の變化とキヤメラの移動の如きは手風琴なハーモニカに變へたものと思はれる

原作は佐藤紅之介で、北村小松は脚色だけだ、從つて我々はこの映畫で小松の好さを味はふことは出來ない、僅かに飯田蝶子の安來節と古川緑波の場面に於て小松らしいものを感じる程度である、物語りは許婚に叛かれた乙女がその優しい弟と弟の友人とに守られて淋しく短き一生を終ると云つた極簡單なものであるが、小松には不向なや、淋しい筋である、その中にランニング競走や友人の兄の負傷等が事件を複雑にしてゐる

俳優中では矢張り主演の川崎弘子が一番光つてゐるが餘り弱々し過ぎるのが却つて嫌ではあるまいか、しかし川崎はトーキー女優として錄音法さへ確かとなれば從分役立つ人だ、その他では助演の瀧口新太郎、北村千惠松の二人が年若かの割にしつかりした感を見せてゐる、吉川光子はトーキーにはもつてこいだし、飯田蝶子の如きもトーキーでは立派に悲劇女優としての前途を持つてゐる

「若き日の感激」は全然「マダムと女房」とはおもむきを異にしてゐる、從つて題名の割りに又俳優が若手揃の割に明朗さに乏しい古川緑波の如きもこの缺點をカバーするために採り入れられたものではあらうが所謂蒲田獨特の三枚目の活躍のさびしい映畫だしかしその反面一部ファンの涙をしぼるに充分であらう

◇◇若き日の感激◇◇ 五所平之助監督蒲田第三回トーキー映畫、北村小松脚色、水谷至宏撮影、土橋晴夫錄音、主演は川崎弘子、瀧口新太郎、北村千惠松、藤野秀夫、齋藤達雄、飯田蝶子、伊達里子、吉川滿子助演、戀人に叛かれてその戀人をあきらめ得ず淋しく死に行く「静子」の物語り【十一日より中央映畫館で上映】

大劇の浪曲大會　初日讀み物

十二日より大連劇場で蓋を開ける京山圓遊、宮川女左近一行の浪曲打大會初日讀物左の如し

藝者の誠（宮川初子）竹田宮殿下（英紅月）吉田御殿（吉田天風）藪井玄蔵（京山吾樂）勸進帳（桃中軒総）長崎土産（天津乙女）軍神乃木（京山圓遊）大西郷（宮川女左近）

嘲話

昨夜から「スキヒイ」と「大飛行艦」を公開してトーキー設備披露映畫會を開催してゐる協和會館、流石長い間委員さん達が研究に研究を重ねてゐただけあつてその發聲は實に素晴らしい▲ここに力を入れてゐるので一層その實が擧げられてゐるが高級ファンにとつて大きな喜びだ▲しかも映畫常設館の營業にさしさわりが無いようにとまでの考慮が拂はれてゐることとて常設館側からも喜ばれてゐるが▲とにかく大連映畫界の誇りが一つ増えたわけだ

本社特選 新棋戰【其七】

平手　先四段△建部和歌夫　四段▲市川一郎

【圖は六六歩迄の局面】

▼市川氏「持駒」銀歩二ツ

△建部氏「持駒」桂

△五五馬　▲四四銀
△六六馬　▲六八角成
△同金ヨル　▲五二金
△四五桂　▲二二玉
△四四馬　▲同歩
△三三銀　▲同金
▲同桂　▲同玉
△三一龍

【土居八段講評】△建部君は危険を避くる意への下に五五馬以下敵歩を取つたのは安全第一の手段である▲市川君は何れ見込ない局面なるも本譜の五二金は良くない、六一歩と打つて龍の棲筋をとめておくが好い。

腦病・神經衰弱

◆神經衰弱が學生、サラリーマン、學者などに限られて居たのは昔のことだ。世の中がこんなに不景氣になつて來ると職人も農夫も職工もルンペンも皆神經衰弱に取つかれてしまふ。そして又神經衰弱にかゝるのは男ばかりでなく女もかゝる、即ちヒステリーといふのがそれで、世の中が複雑になつて生活が深刻化するにつれて女の神經衰弱即ちヒステリーも益々その數を増す一方である。

◆ところが神經衰弱とは一體どんな病氣か？——その病氣は他の病氣とちがつて痛いとか痒いとかいふ病氣でないので神經衰弱（ヒステリー）でありながら案外それに氣付かない人が多い。然し、頭が常に重くボンヤリとして氣が鬱ぎ、物事に根氣がなくなり直ぐに疲れ、また倦きやすくなる。或は物事を考へることが出來なくなり、何でもないことが不安になつて決斷力が鈍つてグズ／＼した人間となる……これらの徴候の中一つでも心に思ひあたるところがあればそれはもう立派な神經衰弱症患者である。

◆かういふ狀態では人生の勝利者たることは愚かこの競爭の激しい世の中に生存して行くことさへ六ケ敷いことは勿論である。生きながらの廢人即ち生ける屍として世を終らなければならない。また婦人の場合のヒステリーは一種の狂的發作を起して周圍の人を常に困らせ、或は不感症となつて夫婦生活家庭生活の破壊といふ悲しむべき結果を見なければならない

◆然らば神經衰弱、ヒステリー患者は絶對に救はれないかといふにさうではない。一體、神經衰弱といふ病氣は腦神經即ち「リン」の消耗によつて腦の營養が衰へたために起る病氣であるから「リン」を補給して、腦の營養を増進すれば治るわけである。それには我が醫學界の權威岡田、織田、伊藤各醫學博士及び北米ロビンソン博士等が極力推奬せらるゝ健腦強精劑「レーベン」が最も理想的である。

「レーベン」を服用すると腦力を即時回復し、元氣は甦り、衰弱の復活目に見ゆるが如く、又性的幸福をも取返し、明るく朗らかな新生活に入ることが出來る。

本日の相場

品名	單位	値段
日本一のおいしい國旗印東京澤庵	百匁	七錢
おいしい壽し米	一メ目	六十五錢
特等白米	一丁	五圓九十錢
白鶴	一叺	五圓九十錢
	同	五圓五十錢
三ツ輪正宗	一升	一圓三十錢
サッポロビール	一本	七十五錢
キリンビール	一箱	二十四錢
リボンシトロン	一本	二圓三十錢
シトロン	同	十四錢
サイダー	同	十六錢
景品付（コーヒ茶碗一組付）	同	十一錢
三ツ矢ソース	大瓶	二十五錢
日清サラダ油	一升	五十錢
赤玉パン粉	一本	十五錢
淺草のり	一帖	二十五錢
大納言（小豆）	一升	十八錢
鶉豆	同	十五錢